

1 企画展

伊東深水展

- 会期 平成18年4月28日(金)～6月4日(日)
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- ポスター B 2
- チラシ A 4
- 図録 300×228mm 160頁
編集・発行：京都新聞社
- 入場者数 28,539人
- 観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円／
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金及び入館引換券(JR東日本びゅうプラザ、緑の窓口で発売)料金
- 出品点数 73点
- 内容解説
伊東深水(1898-1972)は東京深川に生まれ、大正、昭和を通じて人物画の分野を中心に活躍した。深水は13歳で鏗木清方入門、16歳で院展に入選するなど早くからその才能を開花させ、その翌年には文展に入選するなど若くして画家としての地歩を固めた。その後、帝展、日展などを舞台に日本画壇の重鎮として活躍し、また画塾を主催するなど若手の育成にも力を注ぎ、昭和33(1958)年には日本芸術院会員に推挙された。
深水は浮世絵の伝統を継承しながら、鮮やかな色彩と流麗な線描により同時代の生活風俗などを愛情豊かに描き出した。とりわけリアルで澁刺とした女性像を得意とし、数多くの名作を残した。
本展覧会では、《湯気》や《指》といった代表作をはじめ、初期から晩年までの名作73点と素描5点を展示し、その60年に渡る画業を回顧しながら深水芸術の真髄とその魅力を紹介した。
- 担当学芸員 澤渡麻里

- 関連事業
ギャラリートーク
担当 澤渡麻里(学芸員)
日時 5月14日(日) 午後1時30分～2時30分
5月20日(土) 午後1時30分～2時30分
会場 展示室A・B・C
- 関連記事
・28日から「伊東深水展」 北茨城の県天心記念五浦美術館 平成18年4月15日(土)【常陽新聞】
・女性像の名作一堂に 県天心記念五浦美術館 伊東深水の画業紹介 平成18年5月4日(木)【茨城新聞】
・北茨城の県天心記念五浦美術館 美人画家の伊東深水 来月4日まで作品展 平成18年5月9日(火)【常陽新聞】
・人物画中心に活躍 伊東深水展 優美にしてモダン 麗しの女性たち 県天心記念五浦美術館 平成18年5月10日(水)【毎日新聞】
・華麗なる女性美80点 北茨城で伊東深水展 平成18年5月10日(水)【産経新聞】
・伊東深水の画業回顧 平成18年5月16日(火)【読売新聞】
・伊東深水の世界 県天心記念五浦美術館企画展から 1 《指》官能と情緒交えて描く 県天心記念五浦美術館学芸員 澤渡麻里 平成18年5月17日(水)【茨城新聞】
・伊東深水の世界 県天心記念五浦美術館企画展から 2 《聞香》物静かで真剣な雰囲気 県天心記念五浦美術館学芸員 澤渡麻里 平成18年5月18日(木)【茨城新聞】
・伊東深水の世界 県天心記念五浦美術館企画展から 3 《姿見》妖艶なまなごし蠱惑的 県天心記念五浦美術館学芸員 澤渡麻里 平成18年5月19日(金)【茨城新聞】
・伊東深水の世界 県天心記念五浦美術館企画展から 4 《月の出》(雪月花三部作の月) 背景の秋草 描写が繊細 県天心記念五浦美術館学芸員 澤渡麻里 平成18年5月20日(土)【茨城新聞】
・伊東深水の世界 県天心記念五浦美術館企画展から 5 《菊を活ける勅使河原霞女史》 細密描写が見事に調和 県天心記念五浦美術館学芸員 澤渡麻里 平成18年5月21日(日)【茨城新聞】



ポスターB 2



図録



チラシA 4

●関連放送

・「スクーピーレポート」

5月11日(金)【茨城放送】

・「おもしろミュージアム」

5月11日(金)【FMいわき】

●出品作品一覧

| No. | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 寸法(たて×よこ)cm | 出品歴 | 所蔵先 |
|-----|---------------|--------------------|-------------|--------------|-------------------|------------|
| 1 | 恵比寿大黒 | 明治45年(1912) | 絹本着色・軸装 | 113.5×41.5 | | |
| 2 | 春日 | 明治45年頃(1912頃) | 紙本着色・額装 | 76.9×52.5 | | 茨城県近代美術館 |
| 3 | 日本橋(鳥追い) | 明治45年頃(1912頃) | 紙本着色・軸装 | 108.2×29.6 | | |
| 4 | 笠森お仙 | 大正6年(1917) | 絹本着色・額装 | 110.0×94.5 | | |
| 5 | 雪に暮るる町 | 大正9年(1920) | 絹本着色・軸装 | 141.0×50.5 | | |
| 6 | 椿 | 大正9年(1920) | 紙本着色・六曲一隻 | 169.0×362.0 | 第5回郷土会展 | 岐阜県美術館 |
| 7 | 指 | 大正11年(1922) | 絹本着色・軸装 | 170.0×110.5 | 平和記念東京博覧会美術展・二等銀牌 | |
| 8 | 髪結師 | 大正12年(1923) | 絹本着色・軸装 | 142.0×49.5 | | |
| 9 | 湯気 | 大正13年(1924) | 絹本着色・額装 | 103.0×93.5 | 第9回郷土会展 | 名都美術館 |
| 10 | 春宵 | 昭和初期 | 絹本着色・軸装 | 124.0×40.2 | | |
| 11 | 美人図屏風 ことつ・鏡の前 | 昭和3年(1928) | 紙本着色・二曲一双 | 各146.0×144.0 | | |
| 12 | 婦女潮干狩図 | 昭和4年(1929) | 麻本着色・六曲一隻 | 177.5×368.0 | 第14回郷土会展 | |
| 13 | 浄晨 | 昭和5年(1930) | 絹本着色・額装 | 215.0×140.0 | 第11回帝展 | |
| 14 | 露 | 昭和6年(1931) | 紙本着色・二曲一隻 | 167.0×172.0 | 第12回帝展 | 東京国立近代美術館 |
| 15 | 春宵 | 昭和6年(1931) | 絹本着色・額装 | 65.0×96.0 | 第2回朗峯画塾展 | |
| 16 | 暮方 | 昭和7年(1932) | 絹本着色・額装(二面) | 各175.5×117.5 | 第1回青々会展 | |
| 17 | 宵 | 昭和8年(1933) | 絹本着色・軸装 | 79.6×99.0 | 第2回青々会展 | 埼玉県立近代美術館 |
| 18 | 麗日 | 昭和9年(1934) | 紙本金地着色・六曲一双 | 各176.6×423.0 | 第3回青々会展 | 名都美術館 |
| 19 | 晚涼 | 昭和10年(1935) | 絹本着色・軸装 | 48.5×58.0 | 多聞洞新作画展 | |
| 20 | さくら(未完成作) | 昭和14年(1939) | 紙本金地着色・六曲一双 | 各162.5×366.0 | | |
| 21 | 爽涼 | 昭和14年(1939) | 絹本着色・額装 | 87.0×105.0 | 第9回朗峯画塾展 | |
| 22 | 団扇 | 昭和14年頃(1939頃) | 絹本着色・額装 | 50.5×49.5 | | |
| 23 | 鏡獅子 | 昭和15年頃(1940頃) | 絹本着色・軸装 | 62.0×73.0 | | 掛川市二の丸美術館 |
| 24 | 桜(春酣) | 昭和21年(1946) | 絹本金地着色・六曲一隻 | 154.4×352.2 | 第1回日本美術及工芸交易振興展 | |
| 25 | 吹雪 | 昭和21年(1946) | 絹本着色・軸装 | 67.4×72.8 | | 岐阜府博物館 |
| 26 | 吹雪 | 昭和21年頃(1946頃) | 絹本着色・軸装 | 67.3×72.8 | | 西宮市大谷記念美術館 |
| 27 | 雪もちの梅 | 昭和21年頃(1946頃) | 絹本金地着色・二曲一隻 | 168.5×172.4 | | |
| 28 | 鏡 | 昭和22年(1947) | 絹本着色・額装 | 169.0×110.0 | 第3回日展 | 岐阜県美術館 |
| 29 | 雪 | 昭和22年頃(1947頃) | 絹本着色・軸装 | 141.5×51.2 | | |
| 30 | 夜長 | 昭和22年頃(1947頃) | 絹本着色・額装 | 62.4×72.6 | | 岐阜水野美術館 |
| 31 | 朝顔と少女 | 昭和23年(1948) | 絹本着色・軸装 | 87.0×105.0 | 第4回日展 | 滋賀県立近代美術館 |
| 32 | 長夜 | 昭和23年頃(1948頃) | 絹本着色・額装 | 64.0×71.1 | | 大垣市教育委員会 |
| 33 | 髪 | 昭和24年(1949) | 絹本着色・二曲一隻 | 166.8×166.8 | 第9回青衿会展 | |
| 34 | 姉弟 | 昭和25(1950) | 絹本着色・二曲一隻 | 171.6×172.8 | 第1回日月社展 | |
| 35 | 聞香 | 昭和25(1950) | 絹本着色・額装 | 144.0×172.5 | 第6回日展 | 東京国立近代美術館 |
| 36 | 螢籠 | 昭和25頃(1950頃) | 絹本着色・軸装 | 46.0×51.0 | | |
| 37 | 深雪 | 昭和25-26(1950-1951) | 絹本着色・軸装 | 62.2×71.1 | | MOA美術館 |
| 38 | 清方先生像 | 昭和26(1951) | 絹本着色・軸装 | 104.0×88.5 | 第2回日月社展 | 東京国立近代美術館 |
| 39 | ささやき | 昭和27(1952) | 紙本着色・額装 | 66.5×72.7 | | 青梅信用金庫 |
| 40 | 春 | 昭和27(1952) | 絹本着色・額装 | 65.8×72.5 | 第1回伊東深水新作展 | 山種美術館 |
| 41 | 山躑躅 | 昭和28(1953) | 絹本着色・額装 | 73.4×65.0 | | 岐阜ゼノン現代美術館 |
| 42 | 春宵(東おどり) | 昭和29(1954) | 紙本金地着色・四曲一双 | 各174.0×261.0 | 清方・深水・紫明風俗画展 | 高崎市タワー美術館 |
| 43 | 都鳥 | 昭和29(1954) | 絹本着色・額装 | 81.0×87.0 | 清方・深水・紫明風俗画展 | |
| 44 | 紫陽花 | 昭和29(1954) | 絹本着色・額装 | 70.5×62.0 | 三十五人展 | 岐阜ゼノン現代美術館 |

| No. | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 寸法(たて×よこ)cm | 出品歴 | 所蔵先 |
|-----|---------------|---------------|-------------|-------------|--------------|------------|
| 45 | 楽屋 | 昭和29年(1954) | 紙本着色・額装 | 75.0×52.5 | | |
| 46 | 四季美人・夏 | 昭和29年頃(1954頃) | 絹本着色・額装 | 65.0×71.5 | | |
| 47 | 戸外は春雨 | 昭和30年(1955) | 紙本着色・卷子 | 各61.5×165.5 | 第6回日月社展 | 福富太郎コレクション |
| 48 | 宋磁 | 昭和30年(1955) | 紙本着色・額装 | 168.5×168.5 | 第11回日展 | |
| 49 | 伽羅 | 昭和30年頃(1955頃) | 絹本着色・額装 | 49.0×57.5 | | |
| 50 | 春宵 | 昭和30年頃(1955頃) | 絹本着色・額装 | 49.5×57.0 | | |
| 51 | 黒いドレス | 昭和31年(1956) | 紙本着色・額装 | 137.0×95.0 | 第7回日月社展 | |
| 52 | 赤と白A・B | 昭和31年(1956) | 紙本着色・額装(一対) | 各75.0×60.0 | 第4回日月社小品展 | |
| 53 | 清涼 | 昭和31年頃(1956頃) | 紙本着色・額装 | 72.0×90.0 | | |
| 54 | 舞 | 昭和31年頃(1956頃) | 紙本着色・額装 | 74.0×63.0 | | |
| 55 | 婦人像 | 昭和32年(1957) | 紙本着色・額装 | 67.0×72.3 | 第3回伊東深水新作展 | 山種美術館 |
| 56 | 踊り子 | 昭和32年(1957) | 紙本着色・額装 | 68.0×72.5 | 第3回伊東深水新作展 | |
| 57 | 湯気 | 昭和32年頃(1957頃) | 紙本着色・額装 | 74.5×59.5 | | |
| 58 | 姿見 | 昭和33年(1958) | 紙本着色・額装 | 76.0×54.5 | | |
| 59 | 針仕事 | 昭和33年(1958) | 紙本着色・額装 | 75.0×69.0 | | |
| 60 | 黒髪 | 昭和33年(1958) | 紙本着色・額装 | 85.0×76.0 | 第9回日月社展 | |
| 61 | 鏡獅子 | 昭和33年(1958) | 紙本着色・額装 | 77.5×86.8 | | |
| 62 | ささやき | 昭和34年(1959) | 絹本着色・額装 | 63.5×71.5 | | |
| 63 | 愚痴 | 昭和34年(1959) | 紙本着色・額装 | 144.5×116.0 | 第2回新日展 | |
| 64 | 菊 | 昭和36年(1961) | 紙本着色・額装 | 59.6×55.8 | | 西宮市大谷記念美術館 |
| 65 | 桜美人 | 昭和36年(1961) | 紙本着色・額装 | 44.0×37.0 | | 伊東近代美術館 |
| 66 | 初夏の庭 | 昭和36年(1961) | 紙本着色・額装 | 76.5×67.5 | 第9回臯月会展 | 伊東近代美術館 |
| 67 | 雪の夕(雪月花三部作の雪) | 昭和37年(1962) | 紙本着色・額装 | 132.5×105.0 | 画道50年記念伊東深水展 | |
| 68 | 月の出(雪月花三部作の月) | 昭和37年(1962) | 紙本着色・額装 | 132.0×105.0 | 画道50年記念伊東深水展 | |
| 69 | 春の宵(雪月花三部作の花) | 昭和37年(1962) | 紙本着色・額装 | 132.5×104.0 | 画道50年記念伊東深水展 | |
| 70 | ペルシャ壺と椿 | 昭和38年(1963) | 紙本着色・額装 | 82.5×63.2 | 第7回日本国際美術展 | 資生堂アートハウス |
| 71 | 福春 | 昭和40年頃(1965頃) | 紙本着色・額装 | 70.3×52.0 | | |
| 72 | 菊を活ける勅使河原霞女史 | 昭和41年(1966) | 紙本着色・額装 | 153.0×106.5 | 第9回新日展 | 草月会 |
| 73 | 湯気 | 昭和43年(1968) | 紙本着色・額装 | 53.0×40.5 | | 伊東近代美術館 |

◆素描

| | | | |
|---|------|----|-----------|
| 1 | にわか雨 | 額装 | 65.5×76.0 |
| 2 | 紫陽花 | 額装 | 72.5×57.5 |
| 3 | 楽屋 | 額装 | 60.5×54.5 |
| 4 | 少女 | 額装 | 54.5×60.5 |
| 5 | 洋装婦人 | 額装 | 60.5×54.5 |

広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展 歌麿・写楽から幕末バラエティーまで

- 会期 平成18年 7月22日(土)～8月27日(日)
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- ポスター B 2
- チラシ A 4
- 図録 295×225mm 88頁
編集：E.M.I.ネットワーク
発行：茨城県天心記念五浦美術館
- 入場者数 20,419人
- 観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円／
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金及び入館引換券(JR東日本びゅうプラザ、緑の窓口で発売)料金
- 出品点数 216点
- 内容解説
浮世絵は江戸庶民の間で人気のあった歌舞伎役者やファッションなど時の流行を伝達するとともに、よく知られていた名所風景の新たな魅力を身近に伝える情報メディアとして普及し、大衆の趣味や嗜好などを反映しながら人情味豊かな作品を数多く生みだしていった。そこに見られる巧みな画面構成や鮮やかな色彩表現は斬新であり、わが国独自の芸術として今日でも高く評価されている。
本展では、道中の光景や人々の暮らしを伝える歌川広重の名作《東海道五拾三次》(保永堂版)、《五十三次名所図会》(縦絵東海道)と葛飾北斎の《東海道五十三次》(小判)のシリーズ全作品を比較展示した。また、喜多川歌麿とその流れを汲む絵師たちの美人画、東洲斎写楽の役者絵、風景画の革命児である葛飾北斎の《富嶽三十六景 凱風快晴》、開港地横浜の風俗を描いた「横浜絵」、伝奇小説や怪談をテーマにした「妖怪絵」、ユーモアに溢れるだまし絵等、バラエティーに富む浮世絵216点を一堂に展示した。
- 担当 武石 洋(首席学芸主事)

●関連事業

美術講演会

講演名 「歌川広重《東海道五拾三次》の謎と魅力」
講師 中右 瑛(国際浮世絵学会常任理事)
日時 8月5日(土) 午後1時30分～3時
会場 講堂

伝統木版画の摺り実演会

日時 7月30日(日) 2回実演
第1回目 午前11時～午後12時30分
第2回目 午後1時30分～3時

会場 講座室

協力 (財)アダチ伝統木版画技術保存財団

浮世絵摺り体験

日時 8月1日(火)～27日(日)
※但し休館日及び8月9日(水)、23日(水)、
24日(木)は除く。

会場 講座室

ギャラリートーク

担当 武石 洋(首席学芸主事)
日時 7月29日(土) 午後1時30分～2時30分
8月19日(土) 午後1時30分～2時30分
会場 展示室A・B・C

子どものためのギャラリートーク

担当 檜山 政志(首席学芸主事)
日時 8月12日(土) 午後1時30分～2時30分
8月20日(日) 午後1時30分～2時30分
会場 展示室A・B・C

●関連記事

- ・「広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展」
7月19日(水)【週刊茨城朝日】
- ・「広重や北斎 一堂に あすから県五浦美術館」
7月21日(金)【産経新聞】
- ・「五浦美術館で企画展 広重と北斎の五十三次 歌麿・写楽も名品紹介」
7月24日(月)【茨城新聞】
- ・「広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展」
7月28日(金)【日本経済新聞】



ポスターB 2



図録



チラシA 4

- ・「広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展—歌麿・写楽から幕末バラエティーまで」 8月5日(土)【朝日新聞】
- ・「浮世絵の名作一堂に 県天心記念五浦美術館で広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展 27日まで」
8月9日(水)【常陽新聞】
- ・「広重と北斎 浮世絵の魅力 東海道 宿場ごとに展示」
8月12日(土)【読売新聞】
- ・浮世絵名品展 県天心記念五浦美術館企画展から上 歌川広重「東海道五拾三次 日本橋」巧みな表現は斬新(武石洋)
8月19日(土)【茨城新聞】

- ・浮世絵名品展 県天心記念五浦美術館企画展から中 葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」西洋的遠近法で雄大に(武石洋) 8月20日(日)【茨城新聞】
- ・浮世絵名品展 県天心記念五浦美術館企画展から下 東洲斎写楽「四代目岩井半四郎の乳母 重の井」演技の瞬間 デフォルメ(武石洋) 8月21日(月)【茨城新聞】
- 関連放送
- ・「みんなの教育」 7月26日(水)【茨城放送】
- ・「スクーピーレポート」 8月1日(火)【茨城放送】
- ・「おもしろミュージアム」 8月18日(金)【FMいわき】

●出品作品一覧

| No. | 絵師名 | 作品名 | 制作年 | 形状 |
|-----|---------------|--------------|-------------------|------|
| 1 | 広重と北斎の東海道五十三次 | | | |
| 1 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 日本橋 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 2 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 品川 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 3 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 川崎 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 4 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 神奈川 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 5 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 保土ヶ谷 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 6 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 戸塚 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 7 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 藤澤 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 8 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 平塚 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 9 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 大磯 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 10 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 小田原 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 11 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 箱根 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 12 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 三島 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 13 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 沼津 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 14 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 原 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 15 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 吉原 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 16 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 蒲原 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 17 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 由井 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 18 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 奥津 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 19 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 江尻 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 20 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 府中 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 21 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 鞠子 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 22 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 岡部 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 23 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 藤枝 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 24 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 嶋田 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 25 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 金谷 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 26 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 日坂 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 27 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 掛川 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 28 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 袋井 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 29 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 見附 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 30 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 濱松 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 31 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 舞坂 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 32 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 荒井 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 33 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 白須賀 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 34 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 二川 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 35 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 吉田 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 36 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 御油 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 37 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 赤阪 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 38 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 藤川 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 39 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 岡崎 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 40 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 池鯉鮒 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 41 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 鳴海 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 42 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 宮 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 43 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 桑名 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 44 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 四日市 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |

| No. | 絵師名 | 作品名 | 制作年 | 形状 |
|-----|------|--------------|-------------------|------|
| 45 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 石薬師 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 46 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 庄野 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 47 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 亀山 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 48 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 関 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 49 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 阪之下 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 50 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 土山 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 51 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 水口 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 52 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 石部 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 53 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 草津 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 54 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 大津 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 55 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 京師 | 天保4-5年(1833-1834) | 錦絵大判 |
| 56 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 日本橋 | 後摺り | 錦絵大判 |
| 57 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 戸塚 | 後摺り | 錦絵大判 |
| 58 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 蒲原 | 後摺り | 錦絵大判 |
| 59 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 池鯉鮒 | 後摺り | 錦絵大判 |
| 60 | 歌川広重 | 東海道五拾三次 大津 | 後摺り | 錦絵大判 |
| 61 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 日本橋 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 62 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 品川 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 63 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 川崎 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 64 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 神奈川 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 65 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 程ヶ谷 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 66 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 戸塚 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 67 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 藤澤 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 68 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 平塚 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 69 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 大磯 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 70 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 小田原 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 71 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 箱根 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 72 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 三嶋 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 73 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 沼津 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 74 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 原 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 75 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 吉原 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 76 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 蒲原 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 77 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 由井 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 78 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 奥津 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 79 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 江尻 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 80 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 府中 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 81 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 鞠子 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 82 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 岡部 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 83 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 藤枝 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 84 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 島田 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 85 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 金谷 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 86 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 日坂 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 87 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 掛川 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 88 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 袋井 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 89 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 見附 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 90 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 濱松 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 91 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 舞坂 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 92 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 荒井 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 93 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 白須賀 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 94 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 二川 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 95 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 吉田 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 96 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 御油 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 97 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 赤坂 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 98 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 藤川 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 99 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 岡崎 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 100 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 池鯉鮒 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 101 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 鳴海 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 102 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 宮 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 103 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 桑名 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 104 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 四日市 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 105 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 石薬師 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 106 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 庄野 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 107 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 亀山 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 108 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 関 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 109 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 坂の下 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |

| No. | 絵師名 | 作品名 | 制作年 | 形状 |
|-----|------|-------------|--------------------|------|
| 110 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 土山 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 111 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 水口 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 112 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 石部 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 113 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 草津 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 114 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 大津 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 115 | 歌川広重 | 五十三次名所図会 京 | 安政2年(1855) | 錦絵大判 |
| 116 | 柳川重信 | 東海道五十三次 日本橋 | 文政年間頃(c.1818-1830) | 錦絵小判 |
| 117 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 品川 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 118 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 川崎 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 119 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 神奈川 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 120 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 程ヶ谷 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 121 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 戸塚 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 122 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 藤沢 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 123 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 平塚 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 124 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 大磯 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 125 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 小田原 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 126 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 箱根 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 127 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 三島 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 128 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 沼津 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 129 | 柳川重信 | 東海道五十三次 原 | 文政年間頃(c.1818-1830) | 錦絵小判 |
| 130 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 吉原 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 131 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 蒲原 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 132 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 由井 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 133 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 奥津 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 134 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 江尻 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 135 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 府中 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 136 | 柳川重信 | 東海道五十三次 鞠子 | 文政年間頃(c.1818-1830) | 錦絵小判 |
| 137 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 岡部 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 138 | 柳川重信 | 東海道五十三次 藤枝 | 文政年間頃(c.1818-1830) | 錦絵小判 |
| 139 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 島田 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 140 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 金谷 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 141 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 日坂 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 142 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 掛川 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 143 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 袋井 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 144 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 見附 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 145 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 濱松 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 146 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 舞坂 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 147 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 荒井 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 148 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 白須賀 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 149 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 二川 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 150 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 吉田 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 151 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 御油 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 152 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 赤坂 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 153 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 藤川 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 154 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 岡崎 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 155 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 池鯉鮒 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 156 | 柳川重信 | 東海道五十三次 鳴海 | 文政年間頃(c.1818-1830) | 錦絵小判 |
| 157 | 柳川重信 | 東海道五十三次 宮 | 文政年間頃(c.1818-1830) | 錦絵小判 |
| 158 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 桑名 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 159 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 四日市 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 160 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 石薬師 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 161 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 庄野 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 162 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 亀山 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 163 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 関 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 164 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 坂ノ下 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 165 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 土山 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 166 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 水口 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 167 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 石部 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 168 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 草津 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 169 | 葛飾北斎 | 東海道五十三次 大津 | 享和4年(1803) | 錦絵小判 |
| 170 | 柳川重信 | 東海道五十三次 京 | 文政年間頃(c.1818-1830) | 錦絵小判 |

2 旅模様・東海道中膝栗毛

| | | | | |
|-----|------|--------------|-------|------|
| 171 | 歌川広重 | 膝栗毛道中雀 京都大仏殿 | 天保中期頃 | 錦絵大判 |
| 172 | 歌川広重 | 道中膝栗毛 参宮道白子 | 天保中期頃 | 錦絵大判 |

| No | 絵師名 | 作品名 | 制作年 | 形状 |
|-----------------------|-------|---------------------|-----------------------|---------|
| 173 | 歌川広重 | 道中膝栗毛 瀬戸川 | 天保中期頃 | 錦絵大判 |
| 174 | 三代豊国 | 東海道五十三次之内 江尻(弥次郎兵衛) | 嘉永5年(1852) | 錦絵大判 |
| 175 | 三代豊国 | 東海道五十三次之内 府中(喜多八) | 嘉永5年(1852) | 錦絵大判 |
| 3 ゴッホと広重 | | | | |
| 176 | 歌川広重 | 名所江戸百景 亀戸梅屋舗 | 安政4年(1857) | 錦絵大判 |
| 177 | 歌川広重 | 名所江戸百景 大はしあたけの夕立 | 安政4年(1857) | 錦絵大判 |
| 4 黄金期の浮世絵アラカルト | | | | |
| 178 | 勝川春章 | 揚巻と助六 | | 錦絵大判 |
| 179 | 東洲斎写楽 | 四代目岩井半四郎の乳母 重の井 | 寛政6年(1794) | 錦絵大判 |
| 180 | 勝川春好 | 三升市川团十郎の暫 | | 錦絵細判 |
| 181 | 勝川春英 | 大和屋 杜若 | | 錦絵細判 |
| 182 | 歌川豊国 | 役者舞台之姿絵 きの国や | 寛政6年頃(c.1794) | 錦絵大判 |
| 183 | 歌川国貞 | 大当狂言の内 与次郎 | 文化11年頃(c.1814) | 錦絵大判 |
| 184 | 鳥居清長 | 隅田川の料亭 | | 錦絵大判二枚続 |
| 185 | 鳥文斎栄之 | 若那初衣裳 | 寛政7年頃(1795) | 錦絵大判 |
| 186 | 喜多川歌麿 | 婦人相学拾鉢 かねつけ | 寛政3-4年(1791-1792) | 錦絵大判 |
| 187 | 喜多川歌麿 | 青楼十二時 寅の刻 | 寛政6年頃(c.1794) | 錦絵大判 |
| 188 | 菊川英山 | 江戸花美人合 雪 | | 錦絵大判 |
| 189 | 溪斎英泉 | 浮世風俗美女競 | 文政5年頃(c.1822) | 錦絵大判 |
| 190 | 勝川春扇 | 江戸八景ノ内 両国の夕照 | 文化中・後期(1804-1818) | 錦絵大判三枚続 |
| 191 | 歌川国貞 | 三囲の初雪 | | 錦絵大判三枚続 |
| 192 | 歌川国芳 | 八町つづみ夜のけい | | 錦絵大判三枚続 |
| 193 | 豊原国周 | 艶姿化粧自慢 結び上げ | | 錦絵大判 |
| 194 | 歌川広重 | 江戸名所四季の眺 高輪月の景 | | 錦絵大判三枚続 |
| 195 | 歌川広重 | 上野不忍の池 雪の景 | | 錦絵大判三枚続 |
| 196 | 春風舎 | はうたの窓 すみだ川 | | 錦絵大判 |
| 197 | 葛飾北斎 | 富嶽三十六景 凱風快晴 | 天保2-5年(1831-1834) | 錦絵大判 |
| 198 | 葛飾北斎 | 富嶽三十六景 山下白雨 | 天保2-5年(1831-1834) | 錦絵大判 |
| 199 | 葛飾北斎 | 富嶽三十六景 甲州石班沢 | 天保2-5年(1831-1834) | 錦絵大判 |
| 200 | 葛飾北斎 | 富嶽三十六景 常州牛堀 | 天保2-5年(1831-1834) | 錦絵大判 |
| 201 | 司馬江漢 | 駿州八部富士 | 寛政11年頃(c.1799) | 銅版画大判 |
| 5 幕末バラエティー | | | | |
| 202 | 三代豊国 | 広重肖像画 | | 錦絵大判 |
| 203 | 歌川広重 | 忠臣蔵 | | 錦絵大判 |
| 204 | 溪斎英泉 | 江戸不忍弁天ヨリ東叡山ヲ見ル図 | 天保1830-1844 | 錦絵大判 |
| 205 | 葛飾北斎 | 百物語 小はだ小平次 | 天保2年頃(c.1831) | 錦絵中判 |
| 206 | 歌川豊国 | こはだ小平次と女房二役 | | 錦絵大判 |
| 207 | 歌川国芳 | 相馬の古内裏 滝夜叉姫 | 弘化元年-3年頃(c.1844-1846) | 錦絵大判三枚続 |
| 208 | 歌川芳藤 | 五十三次之内 猫之怪 | | 錦絵大判 |
| 209 | 歌川国芳 | 人をばかにした人だ | 弘化4-嘉永5年(1847-1852) | 錦絵大判 |
| 210 | 歌川国芳 | みかけハこゝろがとんだいい人だ | 弘化4年頃(c.1847) | 錦絵大判 |
| 211 | 無款 | 北アメリカ副将使節真像 | | 錦絵中判 |
| 212 | 無款 | 亜墨利加国鉄砲頭 | | 錦絵中判 |
| 213 | 無款 | 黒船の図 | | 錦絵大判 |
| 214 | 歌川芳豊 | アメリカ人コドモチョウアイノ図 | 文久元年(1861) | 錦絵大判 |
| 215 | 歌川芳幾 | 写真鏡 美人図 | 文久元年(1861) | 錦絵大判 |
| <資料> | | | | |
| 216 | 十返舎一九 | 「東海道中膝栗毛」挿絵 | 享和2年-文政5年(1802-1822) | |

日本美術院五浦移転100年 天心と日本美術院の俊英たち

- 会期 平成18年10月21日(土)～11月26日(日)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
共催：茨城新聞社
後援：財団法人 日本美術院/NHK水戸放送局
- ポスター B 2
- チラシ A 4
- 図録 280×225mm 138頁
編集・発行：茨城県天心記念五浦美術館
- 入場者数 26,754人
- 観覧料 一般600(500)円/高大生400(300)円/
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金及び入館引換券(JR東日本びゅうプラザ、緑の窓口で発売)料金。

●出品点数 69点

●内容解説

明治31年、岡倉天心は横山大観ら新進気鋭の画家たちを率いて、新たな活躍の場日本美術院を創立した。意気揚々と旗揚げした日本美術院は、急激な西洋化が進む世相を背景に、新しい時代にふさわしい日本画の創造を目指す、大観らを中心とする院のメンバーが実験的に行った新しい画法・朦朧体が世の不評を買い、院の活動は衰退の一途をたどる。この状況を打開するため、天心は明治39年、日本美術院第一部(絵画)の五浦移転を決行する。五浦の日本美術院研究所では、横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山が天心に従ってこの新天地に移り住み、日夜厳しい態度で制作に励んだ。また、天心に力量を認められた今村紫紅や安田鞞彦ら若き俊英たちも五浦に招かれ、文展など中央画壇において活躍する礎を築いていく。

本展では、日本美術院が五浦に移転して100年になるのを記念し、大観、観山、春草、武山をはじめ、天心の薫陶を受けた俊英たちの意欲あふれる作品とともに、天心が五浦を訪れるきっかけを作った北茨城市出身の画家飛田周山の作品など、あわせて69点を紹介した。

●担当学芸員 稲葉睦子

●関連事業

ギャラリートーク

担当 稲葉 睦子(副主任学芸員)

日時 11月4日(土) 午後1時30分～2時30分

11月18日(土) 午後1時30分～2時30分

会場 企画展示室A・B・C

●関連記事

- ・天心と日本美術院の俊英たち きょう開幕、秀作69点
10月21日(土)【茨城新聞】
- ・天心らの五浦移転100年記念し展覧会
10月22日(日)【朝日新聞】
- ・企画展「天心と日本美術院の俊英たち」大観、観山らの名作紹介
10月27日(金)【常陽新聞】
- ・日本美術院五浦移転100年 天心と日本美術院の俊英たち 26日まで
11月1日(水)【週刊茨城朝日】
- ・天心門下生の作品一堂に 日本美術院移転100周年
11月5日(日)【東京新聞】
- ・天心と日本美術院の俊英たち 県天心記念五浦美術館企画展から1 横山大観「流燈」朦朧体脱し明快な画風(副主任学芸員 稲葉睦子) 11月14日(火)【茨城新聞】
- ・天心と日本美術院の俊英たち 県天心記念五浦美術館企画展から2 下村観山「毘沙門天弁財天」ヒオウギに優美な情趣(学芸員 澤渡麻里) 11月15日(水)【茨城新聞】
- ・天心と日本美術院の俊英たち 県天心記念五浦美術館企画展から3 菱田春草「落葉」静寂と寂寥感描き出す(学芸員 澤渡麻里) 11月16日(木)【茨城新聞】
- ・天心と日本美術院の俊英たち 県天心記念五浦美術館企画展から4 木村武山「阿房劫火」没線描法を駆使し表現(副主任学芸員 稲葉睦子) 11月17日(金)【茨城新聞】
- ・天心と日本美術院の俊英たち 県天心記念五浦美術館企画展から5 今村紫紅「護花鈴」装飾的な画面構成意図(学芸員 澤渡麻里) 11月18日(土)【茨城新聞】
- ・天心と日本美術院の俊英たち 県天心記念五浦美術館企画展から6 安田鞞彦「守屋大連」自然主義的描写で表現(学芸員 澤渡麻里) 11月19日(日)【茨城新聞】
- ・天心と日本美術院の俊英たち 県天心記念五浦美術館企画展から7 飛田周山「星合いのそら」七夕行事の様子を描く(副主任学芸員 稲葉睦子)11月20日(月)【茨城新聞】



ポスターB 2



図録



チラシA 4

●関連放送

・「スクーピーレポート」

10月25日(水)【茨城放送】

・「おもしろミュージアム」 11月3日(金)【FMいわき】

●出品作品一覧

| No. | 作者名 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 寸法(たて×よこ)cm | 初出展覧会 | 所蔵先 |
|-----------------------|--------------|----------------------|--------------------|----------------|--------------|---------------------------|-----------|
| I 日本美術院の旗揚げ | | | | | | | |
| 1 | 小堀鞆音 | 恩賜の御衣 | 明治31年(1898) | 絹本・彩色・軸装 | 110.8×163.5 | 第5回日本絵画協会第1回日本美術院連合絵画共進会 | 栃木県立美術館 |
| 2 | 寺崎広業 | 易水離別図 | 明治32年(1899) | 絹本・彩色・軸装 | 167.7×84.9 | 日本美術院大阪絵画共進会 | 秋田市立千秋美術館 |
| 3 | 横山大観 | 寒天 | 明治33年(1900) | 絹本・彩色・軸装 | 117.5×48.7 | 第3回絵画研究会 | 茨城県近代美術館 |
| 4 | 横山大観 | 阿やめ | 明治34年(1901)頃 | 絹本・彩色・軸装 | 131.0×70.0 | | 横山大観記念館 |
| 5 | 下村観山 | 大原之露 | 明治33年(1900) | 絹本・彩色・軸装 | 248.0×171.0 | 第9回日本絵画協会第4回日本美術院連合絵画共進会 | 茨城県近代美術館 |
| 6 | 菱田春草 | 武蔵野秋景望富岳之図 | 明治31年(1898) | 絹本・彩色・額装 | 110.0×193.0 | 第5回日本絵画協会第1回日本美術院連合絵画共進会 | 富山県立近代美術館 |
| 7 | 菱田春草 | 寒林 | 明治31年(1898) | 紙本・墨画・屏風六曲一隻 | 151.7×358.4 | 第5回日本絵画協会第1回日本美術院連合絵画共進会 | 霊友会妙一記念館 |
| 8 | 菱田春草 | 常磐津 伏姫 | 明治33年(1900) | 絹本・彩色・軸装 | 144.6×67.6 | 第8回日本絵画協会第3回日本美術院連合絵画共進会 | 長野県信濃美術館 |
| 9 | 菱田春草 | 羅浮仙 | 明治34年(1901) | 絹本・彩色・軸装 | 124.5×69.6 | | 長野県信濃美術館 |
| II さまよえる日本美術院 | | | | | | | |
| 10 | 水野年方 | 橘逸勢女 | 明治35年(1902) | 絹本・彩色・軸装 | 各84.8×141.5 | 第13回日本絵画協会第8回日本美術院連合絵画共進会 | |
| 11 | 水野年方 | 日野阿新 | 明治35年(1902) | 絹本・彩色・軸装 | 各84.8×141.5 | 第13回日本絵画協会第8回日本美術院連合絵画共進会 | |
| 12 | 寺崎広業 | 月夜山水 | 明治35年(1902) | 絹本・墨画・軸装 | 141.0×68.0 | 第12回日本絵画協会第7回日本美術院連合絵画共進会 | 永青文庫 |
| 13 | 横山大観 | 夕立 | 明治35年(1902) | 絹本・彩色・軸装 | 116.0×50.0 | 第19回絵画互評会 | 茨城県近代美術館 |
| 14 | 横山大観 | 隠棲 | 明治35年(1902) | 絹本・彩色・軸装 | 120.0×49.0 | 第20回絵画互評会 | 茨城県近代美術館 |
| 15 | 横山大観 | 松月雪景 | 明治37-38年(1904-05) | 絹本・彩色・額装 | 87.5×50.0 | | |
| 16 | 横山大観 | 岩礁の鵜 | 明治37-38年(1904-05) | 絹本・彩色・額装 | 49.9×87.6 | | |
| 17 | 下村観山 | 帰郷の図 | 明治37年(1904) | 絹本・彩色・額装 | 79.7×48.9 | | |
| 18 | 西郷孤月 | 月下飛鷺 | 明治30年代中期 | 絹本・彩色・軸装 | 123.7×48.2 | | 長野県信濃美術館 |
| 19 | 西郷孤月 | 飛瀑 | 明治30年代後期 | 絹本・墨画彩色・軸装(双幅) | 各128.6×50.0 | | 長野県信濃美術館 |
| 20 | 菱田春草 | 霊昭女 | 明治35年(1902) | 絹本・彩色・軸装 | 119.3×49.0 | 第16回絵画互評会 | 飯田市美術博物館 |
| 21 | 菱田春草 | 夜桜 | 明治37年(1904) | 絹本・彩色・軸装 | 72.9×49.5 | | 飯田市美術博物館 |
| 22 | 高橋広湖 | 神武東征図 | 明治37年(1904) | 絹本・彩色・軸装 | 111.4×48.8 | | 熊本市立熊本博物館 |
| 23 | 木村武山 | 熊野 | 明治35年(1902) | 絹本・彩色・軸装 | 144.0×240.0 | 第12回日本絵画協会第7回日本美術院連合絵画共進会 | 茨城県近代美術館 |
| 24 | 木村武山 | 伊邪那岐・伊邪那美命 | 明治37-39年(1904-06)頃 | 絹本・彩色・軸装 | 118.3×49.2 | | 笠間稲荷美術館 |
| 25 | 尾竹竹坡 | 花吹雪 | 明治期 | 絹本・彩色・軸装 | 167.8×83.5 | | 宮城県美術館 |
| 26 | 小林古径 | 摂取 | 明治38年(1905)頃 | 絹本・彩色・軸装 | 114.5×70.0 | | 福井県立美術館 |
| III 日本美術院の五浦時代 | | | | | | | |
| 27 | 小堀鞆音 | 頼政詣高倉宮図 | 明治40年(1907) | 絹本・彩色・軸装(双幅) | 各138.3×50.2 | | 栃木県立美術館 |
| 28 | 寺崎広業 | 湖畔の夏・寒林の月 | 明治40年(1907) | 絹本・墨画・屏風六曲一双 | 各178.0×420.0 | | 秋田市立千秋美術館 |
| 29 | 横山大観 菱田春草 | 春曙・秋夜 | 明治40年(1907)頃 | 絹本・彩色・軸装(双幅) | 各114.6×49.0 | | 長野県信濃美術館 |
| 30 | 横山大観 | 流燈 | 明治42年(1909) | 絹本・彩色・軸装 | 143.1×51.5 | 第3回文展 | 茨城県近代美術館 |
| 31 | 横山大観 | 松並木 | 大正2年(1913) | 絹本・彩色・軸装 | 189.0×85.0 | 第7回文展 | 霊友会妙一記念館 |
| 32 | 梶田半古 | 菊慈童 | 明治42年(1909) | 絹本・彩色・軸装 | 119.2×49.0 | 国画玉成会研究会展覧会 | 高知県立美術館 |
| 33 | 下村観山 | 菊慈童 | 明治42年(1909) | 絹本・彩色・軸装 | 121.8×50.6 | | 宮城県美術館 |
| 34 | 下村観山 | 毘沙門天弁財天 | 明治44年(1911) | 紙本・彩色・屏風六曲一双 | 各169.5×362.5 | | 徳島県立近代美術館 |
| 35 | 川合玉堂 | 二日月 | 明治40年(1907) | 絹本・墨画淡彩・軸装 | 86.4×139.0 | 東京勸業博覧会 | 東京国立近代美術館 |
| 36 | 菱田春草 | 松籟(岡倉天心先生五浦莊書斎小襖絵試作) | 明治38年(1905) | 紙本・墨画彩色・軸装 | 173.0×90.0 | | 茨城県近代美術館 |
| 37 | 菱田春草 | 木の間の月 | 明治39年(1906) | 絹本・墨画彩色・軸装 | 85.7×49.2 | | 霊友会妙一記念館 |

| No | 作者名 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 寸法(たて×よこ)cm | 初出展覧会 | 所蔵先 |
|-------------------|------|----------|--------------|--------------------|------------------|---------------|-----------------------|
| 38 | 菱田春草 | 曙色 | 明治40年(1907) | 絹本・彩色・軸装 | 118.4×50.4 | | 霊友会妙一記念館 |
| 39 | 菱田春草 | 落葉 | 明治42年(1909) | 絹本・彩色・屏風 二曲一双 | 各152.8×151.8 | | 茨城県近代美術館 |
| 40 | 菱田春草 | 鹿 | 明治42年(1909) | 絹本・彩色・軸装 | 128.0×51.0 | | 豊田市美術館 |
| 41 | 菱田春草 | 春秋 | 明治43年(1910) | 絹本・彩色・軸装 (双幅) | 各144.5×71.7 | | 飯田市美術博物館 |
| 42 | 高橋広湖 | 賢女賞月之図 | 明治40年(1907) | 絹本・彩色・軸装 | 144.0×70.3 | | 熊本県立美術館 |
| 43 | 高橋広湖 | 鍾馗捉鬼図 | 明治期 | 絹本・彩色・軸装 (双幅) | 各108.0×41.5 | | 熊本県立美術館 |
| 44 | 木村武山 | 阿房劫火 | 明治40年(1907) | 絹本・彩色・軸装 | 141.0×240.8 | 第1回文展 | 茨城県近代美術館 |
| 45 | 木村武山 | 鳥甘橘・蔦に山鳩 | 明治45年(1912)頃 | 絹本・彩色・屏風 二曲一双 | 各164.0× 164.0 | | 笠岡稲荷美術館 |
| 46 | 飛田周山 | 星合いのそら | 大正4年(1915) | 紙本・彩色・屏風 四曲一隻 | 172.5×355.6 | 第9回文展 | |
| 47 | 飛田周山 | 風神雷神 | 大正5年(1916) | 紙本・彩色・軸装 (双幅) | 各87.0(径) | 第1回美術研精会総合個人展 | |
| 48 | 飛田周山 | 幽居の秋 | 大正6年(1917) | 絹本・彩色・屏風 六曲一双 | 各169.2×372.5 | 第11回文展 | |
| 49 | 尾竹竹坡 | おとづれ | 明治43年(1910) | 紙本・彩色・屏風 六曲一双 | 各155.0×358.6 | 第4回文展 | 東京国立近代美術館 |
| 50 | 今村紫紅 | 秋風五丈原 | 明治40年(1907) | 絹本・彩色・軸装 | 165.0×112.4 | 巽画会第8回展 | 豊田市美術館 |
| 51 | 今村紫紅 | 伊達政宗 | 明治43年(1910) | 絹本・彩色・軸装 | 120.5×71.0 | 第12回紅児会 | 横浜美術館(原範行・ 會津子氏寄贈) |
| 52 | 今村紫紅 | 護花鈴 | 明治44年(1911) | 絹本・彩色・屏風 六曲一双 | 各170.2×364.4 | 第5回文展 | 霊友会妙一記念館 |
| 53 | 今村紫紅 | 道成寺 | 明治期・大正5年 | 紙本・彩色・軸装 | 59.2×49.2 | | 国立大学法人茨城大学 |
| 54 | 今村紫紅 | つたの細道 | 大正2年(1913) | 絹本・彩色・軸装 | 126.0×41.3 | | 横浜美術館 |
| 55 | 小林古径 | 神崎の窟 | 明治40年(1907) | 絹本・彩色・軸装 | 180.0×109.0 | 東京勸業博覧会 | 佐野市立吉澤記念美 術館 |
| 56 | 小林古径 | 緑 | 明治41年(1908) | 絹本・彩色・軸装 | 152.3×70.8 | 第12回紅児会 | 茨城県近代美術館 |
| 57 | 安田鞞彦 | 醍醐観花 | 明治40年(1907) | 絹本・彩色・軸装 | 109.9×41.1 | | 伊豆市 |
| 58 | 安田鞞彦 | 守屋大連 | 明治41年(1908) | 絹本・彩色・軸装 | 150.5×57.2 | 国画玉成会展覧会 | 愛媛県美術館 |
| 59 | 安田鞞彦 | 達磨 | 明治44年(1911)頃 | 絹本・彩色・軸装 | 112.5×42.3 | 第14回紅児会 | 伊豆市 |
| 60 | 安田鞞彦 | 上宮太子 | 明治45年(1912)頃 | 絹本・彩色・軸装 | 126.9×51.1 | 東京大正博覧会特設巽画会展 | 伊豆市 |
| 61 | 前田青邨 | 市場 | 明治43年(1910)頃 | 絹本・彩色・軸装 | 132.2×49.6 | 第11回紅児会 | 伊豆市 |
| 62 | 前田青邨 | 燈籠大臣 | 明治末期 | 絹本・彩色・軸装 | 165.7×86.0 | | 伊豆市 |
| Ⅳ 日本美術院の再興 | | | | | | | |
| 63 | 横山大観 | 暁色 | 大正5年(1916)頃 | 絹本・墨画彩色・ 屏風二曲一双 | 各168.8×167.1 | | 坂東市立猿島資料館 |
| 64 | 下村観山 | 寿星 | 大正4年(1915)頃 | 絹本・彩色・屏風 六曲一双 | 各168.0×370.2 | | 福井県立美術館 |
| 65 | 木村武山 | 小春 | 大正3年(1914) | 絹本・彩色・屏風 六曲一双 | 各171.2×375.0 | 再興第1回院展 | 国立大学法人茨城大学 |
| 66 | 木村武山 | 不動 | 大正5年(1916) | 絹本・彩色・軸装 | 176.0×84.0 | 再興第3回院展 | 笠岡稲荷美術館 |
| 67 | 小林古径 | 柳桜 | 大正4年(1915)頃 | 絹本・彩色・軸装 (双幅) | 各143.6×49.9 | | 五島美術館 |
| 68 | 安田鞞彦 | 御産の褥 | 大正3年(1914) | 絹本・彩色・軸装 | 202.7×85.4 | 再興第1回院展 | 東京国立博物館 |
| 69 | 安田鞞彦 | 忠度訪俊成 | 大正5年(1916)頃 | 絹本・彩色・軸装 | 127.4×42.7 | | 伊豆市 |

春を告げる花—椿絵名作展

- 会期 平成19年1月2日(火)～2月12日(月・祝)
- 主催等 主 催：茨城県天心記念五浦美術館
特別協力：あいおい損害保険株式会社
- ポスター B 2 ●チラシ A 4
- 図録 290×225mm 122頁
監修：細野雅信
編集・発行：茨城県天心記念五浦美術館
- 入場者数 26,669人
- 観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円／
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金及び入館引換券(JR東日本びゅうプラザ、緑の窓口で発売)料金。
- 出品点数 98点
- 内容解説
古くから日本人になじみ深い花木、椿を主題にした作品を集めた展覧会を開催した。
これまで長く椿を扱った作品を収集してきたあいおい損害保険株式会社の協力により、本展では、江戸時代の琳派の代表作家、尾形光琳、乾山などの絵画、工芸から横山大観、奥村土牛、前田青邨など、近現代の優れた作家による椿を描いた名品96点と、茨城県近代美術館で所蔵されている2点の椿作品により、変化に富む椿の花の美しさと、各作家たちによる、個性的な表現の魅力を堪能いただいた。
会場では、日本人と椿のかかわりをまとめた略年表や、万葉集に歌われた椿関連の和歌の解説も行き、また、江戸時代から宮中に伝わり618品種の椿の図を収めた『椿花図譜』の復刻版なども展示し、椿に関して多角的な興味を持ってもらえるようにした。
さらに、日本ツバキ協会の協力により、様々な種類の椿の盆栽をロビーに展示し、正面玄関には、北茨城華道協会の協力により、椿を用いた生花の展示もし、美術館全体で椿展の雰囲気を盛り上げた。
- 担当学芸員 小泉淳一

●関連事業

ギャラリートーク

担当 小泉 淳一 (首席学芸員)

日時 1月14日(日) 午後1時30分～2時30分
1月28日(日) 午後1時30分～2時30分

会場 展示室A・B・C

日本画体験実技講座

「椿を描こう—箔を使って—」

講師 谷中武彦 (日本画家)

日時 2月3日(土)・4日(日)

各日午前10時～午後4時

会場 講座室

●関連記事

- ・ツバキの名作98点 五浦美術館 2日から企画展
平成18年12月26日(火)【産経新聞】
- ・椿絵の魅力を紹介2日から「名作展」開催
平成18年12月31日(日)【常陽新聞】
- ・春を告げる花 椿絵名作展 桃山から現代までの作品を紹介
平成19年1月1日(月)【夕刊いわき民報】
- ・吐玉泉「春を告げる花 椿絵名作展」
平成19年1月3日(水)【茨城新聞】
- ・春告げる絵画、工芸 五浦美術館で椿絵名作展 近世から近・現代の98点
平成19年1月8日(月)【茨城新聞】
- ・「春を告げる花—椿絵名作展」を開催 所蔵品公開
平成19年1月15日(月)【保険毎日新聞】
- ・狩野山楽(伝)「椿梅図」 伝統画題アレンジ [椿絵名作展から1]
平成19年1月17日(水)【茨城新聞】
- ・牧 進「雪色」浮き立つ「白」鮮明 [椿絵名作展から2]
平成19年1月18日(木)【茨城新聞】
- ・村上華岳「椿花図」 渋みある赤の色調 [椿絵名作展から3]
平成19年1月19日(金)【茨城新聞】
- ・「椿」テーマの名作展 有名70作家の98点
平成19年1月19日(金)【茨城新聞】
- ・熊谷守一の椿の絵を見て [あっちの窓から見てごらん46]
平成19年2月24日(土)【常陽新聞】
- ・伝 狩野山楽「椿梅図」 [県天心記念五浦美術館企画展より]
平成19年 N0.45【北茨城市議会だより】
- 関連放送
- ・「スクーパーレポート」 1月16日(水)【茨城放送】
- ・「おもしろミュージアム」 1月18日(金)【FMいわき】
- ・「こんにちはわいわいスタジオ美術館特報」
1月5日(金)【NHKデジタル】



ポスター B 2



図 録



チラシ A 4

● 出品作品一覧

| No. | 作者名 | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 西暦 | 材質・技法・形状 | 寸法(たて×よこ)cm |
|---------------|----------|-----------|----------|-----------|---------|--------------|-----------------|
| 古画にみる椿 | | | | | | | |
| 1 | 狩野山楽 (伝) | 1559-1635 | 椿梅図 | 桃山時代 | | 紙本・彩色・屏風二曲一隻 | 158×166.5 |
| 2 | 松花堂昭乗 | 1584-1639 | 石臺椿之図 | 桃山時代 | | 紙本・彩色・軸装 | 30.6×29.6 |
| 3 | 尾形光琳 | 1658-1716 | 紅椿図 | 江戸時代 | | 紙本・彩色・団扇・額装 | 23.7×23.3 |
| 4 | 酒井抱一 | 1761-1828 | 葎椿鶯図 | 江戸時代 | | 紙本・彩色・扇子・額装 | 15.5×44.5 |
| 5 | 松村景文 | 1779-1843 | 沙羅椿と雀図 | 江戸時代 | | 紙本・彩色・軸装 | 126.8×38.2 |
| 6 | 鈴木其一 | 1796-1858 | 梅椿図 | 江戸時代 | | 紙本・彩色・額装 | 94.5×29.0 |
| 雪に咲く花 | | | | | | | |
| 7 | 横山大観 | 1868-1958 | 雪旦 | 大正15年 | 1926 | 絹本・彩色・軸装 | 143.6×38.2 |
| 8 | 金島桂華 | 1892-1974 | 雪中椿 | 昭和10年頃 | c.1935 | 絹本・彩色・軸装 | 126.5×27.5 |
| 9 | 山口華楊 | 1899-1984 | 寒椿 | 昭和50年頃 | c.1975 | 紙本・彩色・額装 | 38.4×46.0 |
| 10 | 牧進 | 1936- | 雪色 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 65.2×91.0 |
| 11 | 椿貞雄 | 1896-1957 | 雪椿(春雪) | 昭和17年 | 1942 | 油彩・麻布・額装 | 70.3×90.6 |
| 椿と鳥と | | | | | | | |
| 12 | 川合玉堂 | 1873-1957 | 椿花小禽図 | 大正元年 | 1912 | 絹本・彩色・軸装 | 110.3×39.9 |
| 13 | 松林桂月 | 1876-1963 | 八哥鳥 | 昭和21・25年 | 1946-50 | 絹本・彩色・軸装 | 47.1×57.8 |
| 14 | 富田溪仙 | 1879-1936 | 園中春暖図 | 昭和8年 | 1933 | 絹本・彩色・軸装 | 129.1×35.8 |
| 15 | 堂本印象 | 1891-1975 | 春花・春鳥 | 不詳 | | 絹本・彩色・軸装 | 43.0×51.0 |
| 16 | 竹山博 | 1923-1994 | 紅白椿 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 40.5×53.0 |
| 17 | 川島睦郎 | 1940- | 椿 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 46.0×61.0 |
| 18 | 松村公嗣 | 1948- | 春 | 昭和61年 | 1986 | 紙本・彩色・額装 | 73.0×53.4 |
| 19 | 後藤順一 | 1948- | 貴椿 | 昭和61年 | 1986 | 紙本・彩色・額装 | 52.5×72.5 |
| 自然の情趣 | | | | | | | |
| 20 | 安田鞞彦 | 1884-1978 | 紅白椿 | 不詳(昭和) | | 絹本・彩色・額装 | 40.5×32.0 |
| 21 | 村上華岳 | 1888-1939 | 椿図 | 不詳 | | 絹本・彩色・軸装 | 26.5×24.0 |
| 22 | 村上華岳 | 1888-1939 | 椿花図 | 大正13年頃 | c.1924 | 絹本・彩色・額装 | 40.9×51.7 |
| 23 | 村上華岳 | 1888-1939 | 紅椿 | 不詳 | | 絹本・彩色・軸装 | 32.2×42.0 |
| 24 | 奥村土牛 | 1889-1990 | 椿花 | 昭和57・58年頃 | 1982-83 | 紙本・彩色・額装 | 40.8×30.8 |
| 25 | 奥村土牛 | 1889-1990 | 紅椿 | 昭和30年頃 | c.1955 | 絹本・彩色・額装 | 58.0×73.0 |
| 26 | 奥村土牛 | 1889-1990 | 椿 | 不詳(昭和) | | 紙本・彩色・軸装 | 26.6×35.4 |
| 27 | 福田平八郎 | 1892-1974 | 八重椿 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 31.0×48.0 |
| 28 | 山口蓬春 | 1893-1971 | 都波喜 | 昭和30年頃 | c.1955 | 紙本・彩色・額装 | 50.0×38.4 |
| 29 | 徳岡神泉 | 1896-1972 | 紅椿 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 32.0×45.8 |
| 30 | 上村松篁 | 1902-2001 | 椿 | 昭和32年 | 1957 | 絹本・彩色・軸装 | 43.5×51.0 |
| 31 | 橋本明治 | 1904-1991 | 椿(浅春) | 昭和29・30年 | 1954-55 | 紙本・彩色・軸装 | 50.5×58.3 |
| 32 | 大山忠作 | 1922- | 椿 | 昭和35年 | 1960 | 紙本・彩色・額装 | 53.2×73.2 |
| 33 | 小泉淳作 | 1924- | 椿 | 昭和61年 | 1986 | 紙本・彩色・額装 | 57.8×33.6 |
| 34 | 牧進 | 1936- | 春情 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 53.0×65.0 |
| 35 | 青山巨幹 | 1945- | 大虬 | 不詳 | | 絹本・彩色・軸装 | 64.0×79.0 |
| 36 | 大野俊明 | 1948- | 曙 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 53.0×72.0 |
| 37 | 梅原幸雄 | 1950- | 椿 | 不詳 | | 絹本・彩色・額装 | 63.2×52.5 |
| 38 | 熊谷守一 | 1880-1877 | 春の日 | 昭和41年 | 1966 | 油彩・板・額装 | 15.6×22.5 |
| 39 | 香月泰男 | 1911-1974 | 白椿 | 昭和46年 | 1971 | 油彩・麻布・額装 | 41.0×24.5 |
| 40 | 香月泰男 | 1911-1974 | 椿花 | 昭和46年 | 1971 | 油彩・麻布・額装 | 26.5×21.0 |
| 意匠の椿 | | | | | | | |
| 41 | 尾形光琳 | 1658-1716 | 椿図時絵硯箱 | 江戸時代 | | 漆器 | 10.3×23.0×25.03 |
| 42 | 尾形乾山 | 1663-1743 | 鏤絵椿図角皿 | 江戸時代 | | 陶器 | 2.5×22.0×22.0 |
| 43 | 尾形乾山 | 1663-1743 | 色絵椿文輪花向付 | 江戸時代 | | 陶器(五客) | 各7.2×径10.3 |
| 44 | 尾形乾山 | 1663-1743 | 色絵椿文輪花向付 | 江戸時代 | | 陶器(五客) | 各5.5×16.3×16.3 |
| 45 | 北大路魯山人 | 1883-1959 | 色絵椿文鉢 | 昭和10年代 | 1935-44 | 陶器 | 21.0×径25.4 |
| 46 | 古川隆久 | 1940- | 椿文壺 | 不詳 | | 陶器 | 25.4×高さ21 |

| No | 作者名 | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 西暦 | 材質・技法・形状 | 寸法(たて×よこ)cm |
|----|-------|-----------|------|-----------|-----------|--------------|-------------|
| 47 | 竹久夢二 | 1884-1934 | 舞妓 | 不詳(大正) | | 絹本・彩色・額装 | 124.3×42.0 |
| 48 | 小茂田青樹 | 1891-1933 | 春苑 | 昭和8年 | 1933 | 紙本・彩色・額装(扇面) | 17.0×54.0 |
| 49 | 中川一政 | 1893-1991 | 椿 | 昭和45-50年頃 | c.1970-75 | 紙本・彩色・額装(扇面) | 23.0×52.0 |
| 50 | 梅原龍三郎 | 1888-1986 | 唐美人椿 | 昭和31年 | 1956 | 油彩・麻布・額装(扇面) | 17.0×59.4 |

卓上の花

| | | | | | | | |
|----|-------|-----------|-------------|-----------|---------|------------|-----------|
| 51 | 富田溪仙 | 1879-1936 | 春の花籠図 | 昭和5-6年 | 1930-31 | 絹本・彩色・額装 | 45.4×57.5 |
| 52 | 小林古径 | 1883-1957 | 椿 | 昭和26年 | 1951 | 紙本・彩色・額装 | 65.0×45.5 |
| 53 | 安田靉彦 | 1884-1978 | 椿寿瓶 | 昭和39年 | 1964 | 紙本・彩色・額装 | 45.6×38.0 |
| 54 | 前田青邨 | 1885-1977 | 椿 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 37.4×48.8 |
| 55 | 前田青邨 | 1885-1977 | 椿 | 昭和39年 | 1964 | 紙本・彩色・額装 | 71.8×87.0 |
| 56 | 堅山南風 | 1887-1980 | オランダ染付 壺の椿 | 昭和30年頃 | c.1955 | 紙本・彩色・額装 | 63.0×45.3 |
| 57 | 堅山南風 | 1887-1980 | 古代壺の花 | 昭和48年 | 1973 | 紙本・彩色・額装 | 66.7×56.9 |
| 58 | 山本倉丘 | 1893-1993 | 瓶花 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 40.8×27.0 |
| 59 | 小倉遊亀 | 1895-2000 | 椿 | 昭和48-50年頃 | 1973-75 | 紙本・彩色・額装 | 43.4×60.3 |
| 60 | 小倉遊亀 | 1895-2000 | 古九谷徳利と白椿 | 昭和61年 | 1986 | 紙本・彩色・額装 | 50.4×42.4 |
| 61 | 小倉遊亀 | 1895-2000 | 椿 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 46.4×38.4 |
| 62 | 高山辰雄 | 1912- | 椿 | 昭和56年頃 | c.1981 | 絹本・彩色・額装 | 31.0×41.0 |
| 63 | 高山辰雄 | 1912- | 椿 | 不詳 | | 絹本・彩色・額装 | 65.0×49.0 |
| 64 | 堀文子 | 1918- | 椿之図 | 昭和57年 | 1982 | 紙本・彩色・額装 | 66.0×50.6 |
| 65 | 堀文子 | 1918- | 繚乱 | 昭和57年頃 | c.1982 | 紙本・彩色・額装 | 73.0×90.2 |
| 66 | 堀文子 | 1918- | 春の籠 | 昭和60年 | 1985 | 紙本・彩色・額装 | 45.5×53.5 |
| 67 | 堀文子 | 1918- | 春の籠 | 昭和63年 | 1988 | 紙本・彩色・額装 | 53.5×45.5 |
| 68 | 松尾敏男 | 1926- | 瓶花 | 昭和61年 | 1986 | 紙本・彩色・額装 | 65.0×50.0 |
| 69 | 穂月明 | 1929- | 籠の白椿 | 昭和61年 | 1986 | 紙本・墨画・額装 | 62.5×52.0 |
| 70 | 岡信孝 | 1932- | 椿花籠 | 昭和59年 | 1984 | 紙本・彩色・額装 | 53.3×73.0 |
| 71 | 大矢紀 | 1936- | 万葉花 | 昭和61年 | 1986 | 紙本・彩色・額装 | 72.8×53.2 |
| 72 | 石踊絃一 | 1941- | 椿花 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 45.5×45.5 |
| 73 | 吉井東人 | 1942- | 椿 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 63.0×47.9 |
| 74 | 吉井東人 | 1942- | 椿 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 46.0×53.0 |
| 75 | 中島千波 | 1945- | 酒中花 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 48.0×30.0 |
| 76 | 満谷国四郎 | 1874-1936 | 椿 | 不詳 | | 油彩・板・額装 | 37.9×45.4 |
| 77 | 岸田劉生 | 1891-1929 | 籠椿 | 大正13年 | 1924 | 油彩・麻布・額装 | 26.6×45.0 |
| 78 | 児島善三郎 | 1893-1962 | 支那壺の椿 | 不詳 | | 油彩・麻布・額装 | 41.0×32.0 |
| 79 | 中川一政 | 1893-1991 | 椿 | 昭和35年 | 1960 | 油彩・麻布・額装 | 53.0×45.6 |
| 80 | 中川一政 | 1893-1991 | 椿 | 昭和37年 | 1962 | 絹本・彩色・額装 | 57.2×42.2 |
| 81 | 椿貞雄 | 1896-1957 | 椿花 | 昭和23年 | 1948 | 油彩・麻布・額装 | 33.0×52.8 |
| 82 | 椿貞雄 | 1896-1957 | 白磁壺と椿 | 昭和23-24年 | 1948-49 | 油彩・麻布・額装 | 27.2×40.9 |
| 83 | 鳥海青児 | 1902-1972 | 椿 | 不詳 | | 油彩・麻布・額装 | 41.0×32.0 |
| 84 | 鳥海青児 | 1902-1972 | 野椿古瀬戸徳利 | 昭和35年頃 | c.1960 | 油彩・麻布・額装 | 45.0×37.8 |
| 85 | 糸園和二郎 | 1911-2001 | 椿(花三輪) | 不詳 | | 油彩・麻布・額装 | 27.2×22.0 |
| 86 | 糸園和二郎 | 1911-2001 | 椿(花一輪) | 昭和62年 | 1987 | 油彩・麻布・額装 | 33.4×24.0 |
| 87 | 五味梯四郎 | 1918-2004 | 紅白椿(古フランス壺) | 不詳 | | 油彩・麻布・額装 | 65.0×49.8 |
| 88 | 福井良之助 | 1923-1986 | 椿 | 昭和59年 | 1984 | 油彩・麻布・額装 | 60.6×72.4 |
| 89 | 岩戸敏彦 | 1947-2007 | 椿 | 不詳 | | 油彩・麻布・額装 | 46.0×38.0 |
| 90 | 黒田悦子 | 1949- | 春華 | 不詳 | | 油彩・麻布・額装 | 53.0×41.0 |
| 91 | 斎藤清 | 1907-1997 | 椿 | 不詳 | | コラグラフ・紙・額装 | 74.4×45.5 |

椿幻想

| | | | | | | | |
|----|------|-----------|---------|-------|------|--------------|-------------|
| 92 | 加藤東一 | 1916-1996 | 春を告げる花 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 32.0×41.0 |
| 93 | 牧進 | 1936- | 眠れる美女 | 昭和63年 | 1988 | 紙本・彩色・額装 | 133.0×165.0 |
| 94 | 牧進 | 1936- | 初霞 | 不詳 | | 紙本・彩色・額装 | 175.5×171.5 |
| 95 | 久保嶺爾 | 1940- | 春の岬 | 昭和54年 | 1979 | 紙本・彩色・額装 | 33.0×53.0 |
| 96 | 林功 | 1946-2000 | 静光(日に椿) | 不詳 | | 紙本・彩色・屏風六曲一隻 | 157.0×360.0 |

茨城県近代美術館所蔵の椿作品

| | | | | | | | |
|----|--------|-----------|------|--------|--------|----------|-------------|
| 97 | 永田 春水 | 1889-1960 | 春光煦々 | 大正15年 | 1926 | 絹本・彩色・額装 | 239.0×140.0 |
| 98 | 須田 国太郎 | 1889-1960 | 椿 | 昭和15年頃 | c.1940 | 油彩・麻布・額装 | 50.0×61.0 |

再興第91回院展 茨城五浦展 —天心、大観の精神を受け継ぐ画家たち—

- 会期 平成19年3月8日(木)～3月25日(日)
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
財団法人日本美術院
- ポスター B 2
- チラシ A 4
- 図録 240×250mm 120頁
編集：財団法人日本美術院
発行：財団法人日本美術院
- 入場者数 9,675人
- 観覧料 一般500(400)円／高大生300(250)円／
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金及び入館引換券(JR東日
本びゅうプラザ、緑の窓口で発売)料金。
- 出品点数 68点
- 内容解説
明治31年(1898)、岡倉天心を中心として創立された日本
美術院は、近代日本画壇の一翼を担ってきた美術団体であ

る。明治39年(1906)、第一部(絵画)は東京谷中から茨城県五浦に移り、画家たちは新しい日本画の創造に邁進した。天心没後の大正3年(1914)、その精神を受け継いだ横山大観、下村観山らによって日本美術院が再興されて以来、数多くの優れた画家たちを輩出してきた。今日では、平山郁夫、福王寺法林、郷倉和子らの同人をはじめ、中堅、新進作家が意欲的な作品を発表している。本展では、再興第91回院展に出品された同人、招待等の作品をはじめ、日本美術院賞、奨励賞、さらに第12回天心記念茨城賞の受賞作品や、茨城県ゆかりの画家の入選作品など、68点を紹介した。

- 担当 三代博紀(主任学芸主事)
- 関連記事
 - ・天心、大観の精神受継ぐ 2月24日(土)【両毛新聞】
 - ・天心、大観ゆかりの地で 3月8日(木)【茨城新聞】
 - ・同人入選作など68点紹介 3月9日(金)【常陽新聞】
 - ・再興第91回院展茨城五浦展3月16日(金)【日本経済新聞】
 - ・県内初公開の68点 3月25日(日)【読売新聞】
- 関連放送
 - ・「スクーピーレポート」 3月8日(木)【茨城放送】
 - ・「おもしろミュージアム」 3月9日(金)【FMいわき】
 - ・「みんなの教育」 3月10日(土)【茨城放送】



ポスターB 2



図録



チラシA 4

●出品作品一覧

| No. | 作者名 | 作品名 | 受賞 | 裱付寸法(たて×よこ)cm |
|-----------|--------|--------------|----|---------------|
| 同人(同人推挙順) | | | | |
| 1 | 福王寺 法林 | ヒマラヤの月 | | 119.5×167.5 |
| 2 | 郷倉 和子 | 水辺の春光 | | 141.0×249.0 |
| 3 | 平山 郁夫 | 神峰黄山雲海図 | | 198.3×755.0 |
| 4 | 松尾 敏男 | シェフの肖像 | | 224.8×161.2 |
| 5 | 後藤 純男 | 秋映大和 | | 212.0×390.0 |
| 6 | 下田 義寛 | 燿 | | 189.2×326.4 |
| 7 | 小山 硬 | 宣教師フロイス一行と信長 | | 179.0×463.0 |
| 8 | 鎌倉 秀雄 | この実に裕美 | | 179.4×244.5 |
| 9 | 福井 爽人 | サン・マリーへの道 | | 218.2×243.3 |
| 10 | 伊藤 彰耳 | 秋田・彩・玉川 | | 185.0×500.0 |
| 11 | 松本 哲男 | 文明アメリカ ユカタン | | 245.0×606.0 |

| No. | 作者名 | 作品名 | 受賞 | 枠付寸法(たて×よこ)cm |
|-----|---------|------------------------|---------|---------------|
| 12 | 田淵 俊夫 | 夕想 | | 177.0×368.0 |
| 13 | 那波多目 功一 | 昇陽(ディアナ神殿) | | 200.0×245.2 |
| 14 | 手塚 雄二 | 迦羅須 <small>からす</small> | | 175.0×364.5 |
| 15 | 福王寺 一彦 | 上弦の月(三) | | 249.0×492.0 |
| 16 | 梅原 幸雄 | 祈りの道 | | 221.0×370.0 |
| 17 | 清水 達三 | 翠響 | | 200.0×358.5 |
| 18 | 宮廻 正明 | 午後の揺曳 | | 204.0×269.0 |
| 19 | 菊川 三織子 | ユーカラの里 | | 213.5×181.5 |
| 20 | 西田 俊英 | 吉備の鶴・誕生(左)鳴き合い(右) | 足立美術館賞 | 179.0×777.0 |
| 21 | 小谷津 雅美 | 桜韻 | 内閣総理大臣賞 | 176.3×244.3 |
| 22 | 松村 公嗣 | 惜春 | | 177.0×364.5 |
| 23 | 大矢 紀 | 風響 | | 202.0×282.0 |
| 24 | 高橋 秀年 | 観音光 | | 230.0×282.0 |
| 25 | 川瀬 磨士 | 八甲田 | 文部科学大臣賞 | 227.0×300.0 |
| 26 | 吉村 誠司 | 昇陽 | | 210.4×230.3 |
| 27 | 村上 裕二 | 天々 | | 231.8×197.0 |
| 28 | 大野 百樹 | 白梅 | | 192.0×384.5 |
| 29 | 今井 珠泉 | 光耀 | | 245.5×195.5 |
| 30 | 倉島 重友 | 風渡る | | 189.0×241.5 |
| 31 | 清水 由朗 | 貿易風 | | 207.0×256.5 |

・入選作(招待・無鑑査を含む)(五十音順)

| | | | | |
|----|---------|---|-------------|-------------|
| 32 | 荒木 みどりこ | 木の葉舞い散る | 奨励賞 | 180.0×225.0 |
| 33 | 井坂 洋一 | 降る | | 220.0×154.0 |
| 34 | 石村 雅幸 | 精魄 <small>せいぼく</small> | 奨励賞 | 180.0×225.0 |
| 35 | 井手 康人 | 奏園 | 奨励賞 天心記念茨城賞 | 225.0×180.0 |
| 36 | 大坪 由明 | 富士登山 | | 225.0×180.0 |
| 37 | 大野 逸男 | 流れ | | 215.0×170.0 |
| 38 | 大矢 十四彦 | 黎明 | 奨励賞 | 225.0×180.0 |
| 39 | 岡田 眞治 | 朝光 | | 220.0×180.0 |
| 40 | 小田野 尚之 | あいさつ | | 180.0×225.0 |
| 41 | 鬼塚 堅太 | とみちゃんの森 | | 225.0×180.0 |
| 42 | 角島 直樹 | 渡岸の刻 | 奨励賞 | 225.0×180.0 |
| 43 | 岸野 香 | 親友 | 奨励賞 | 180.0×225.0 |
| 44 | 北田 克己 | 明けゆく | | 225.0×180.0 |
| 45 | 國司 華子 | 陡然 <small>とぜん</small> タル欠片 <small>かけら</small> | 奨励賞 | 180.0×225.0 |
| 46 | 斎藤 彰男 | 漂う | | 180.0×225.0 |
| 47 | 斎藤 博康 | 滯 <small>しん</small> | | 170.0×210.0 |
| 48 | 斎藤 満栄 | ドーム | | 225.0×180.0 |
| 49 | 篠崎 美保子 | 木もれ日の庭 | 奨励賞 | 180.0×225.0 |
| 50 | 鈴木 至夫 | 奥能登冬涛 | 奨励賞 | 180.0×225.0 |
| 51 | 谷 善徳 | 戻 <small>しよく</small> | 奨励賞 | 180.0×225.0 |
| 52 | 辻 紀子 | 樹根 | | 210.0×180.0 |
| 53 | 仲 裕行 | 夢の軌跡 | | 180.0×225.0 |
| 54 | 中村 英生 | トタンの家 | | 170.0×215.0 |
| 55 | 中村 譲 | 浮棧橋 | 日本美術院賞 | 180.0×225.0 |
| 56 | 番場 三雄 | 越えて | 奨励賞 | 225.0×180.0 |
| 57 | 福田 喜美子 | いつもの場所 | | 160.0×225.0 |
| 58 | 堀川 達三郎 | 夕韻 | 奨励賞 | 180.0×225.0 |
| 59 | 前原 満夫 | 冬枯れの中で | 日本美術院賞 | 180.0×225.0 |
| 60 | 榊田 隆一 | 冬の蓮池 | | 225.0×180.0 |
| 61 | 宮北 千織 | 半夏生 | | 180.0×225.0 |
| 62 | 村岡 貴美男 | 風の塔 | 奨励賞 | 180.0×225.0 |
| 63 | 谷中 武彦 | 氷花 | | 225.0×180.0 |
| 64 | 山田 伸 | 座 | 奨励賞 | 225.0×180.0 |
| 65 | 山本 浩之 | ひとり | | 225.0×180.0 |
| 66 | 吉澤 照子 | 残照 | | 170.0×202.0 |
| 67 | 吉村 佳洋 | 階段 | 奨励賞 | 180.0×225.0 |
| 68 | 藁谷 実 | 夜想詩 | 奨励賞 | 225.0×180.0 |

2 所蔵品展

●概要

茨城県近代美術館所蔵作品から日本画を中心に、その都度テーマを設けて選び出し、展示室Aで年4回展示し、公開した。

●主催 茨城県天心記念五浦美術館

●会期及びテーマ

| No | 会 期 | テ ー マ | |
|-----|--------------------|-----------------------|--------|
| | 2/24(金)ー4/23(日) | 所蔵品展 再興日本美術院の画家たち | 7,697 |
| 1 | 6/9(金)ー7/17(月・祝) | 第1回所蔵品展 暮らしの情景ー昭和回想ー | 15,823 |
| 2 | 9/1(金)ー10/15(日) | 第2回所蔵品展 日本美術院と茨城の画家たち | 19,417 |
| | 9/14(木)ー10/15(日) | 特別展示 木村武山 須磨御殿彩色杉戸絵 | |
| 3 | 12/1(金)ー12/24(日) | 第3回所蔵品展 四季の情景ー冬ー | 11,616 |
| 4 | 2/17(土)ー3/4(日):前期 | 第4回所蔵品展 戦後日本画へのいざない | 7,706 |
| | 3/29(土)ー4/22(日):後期 | | 1,676 |
| 合 計 | | | 63,935 |

●観覧料 一般180(140)円/高大生110(80)円/小中生80(50)円

※()内は20名以上の団体料金

※長期休業期間を除く土曜日は高校生以下無料

●入館者数 63,935人

※所蔵品展「再興日本美術院の画家たち」は4月1日からの入館者数である。

※第4回所蔵品展は3月31日までの入館者数である。

●所蔵品展チラシ



第1回所蔵品展 暮らしの情景ー昭和回想ー 平成18年6月9日(金)～7月17日(月・祝)

戦後、日本人の生活は、科学技術の発達と、それにとまなうたくさんの新商品によって大きく変わり、ちょっと以前の暮らしぶりできえ、次々に忘れ去られてゆくばかりである。今回、所蔵品の中から、昭和の時代に活躍した様々な作家の同時代風俗画等を紹介して、今ではもう、懐かしさを感じさせる昭和を回想してみた。

●出品目録

| No. | 作者名(生年順) | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 大きさ(cm) | 備考 |
|-------|----------|-----------|---------------|-------|--------------|--------------|---------|
| 〈日本画〉 | | | | | | | |
| 1 | 小川 芋銭 | 1868-1938 | 若葉と水蒸気 | 昭和7年頃 | 絹本・淡彩・軸装 | 40.0×51.5 | |
| 2 | 小川 芋銭 | | 春日遅々(魚鳥と童子) | 昭和9年 | 紙本・淡彩・軸装 | 48.5×68.3 | |
| 3 | 小川 芋銭 | | 江村六月, 雲巒烟水 | 昭和10年 | 絹本・淡彩・屏風六曲一双 | 各157.5×333.0 | 篠目龍三氏寄贈 |
| 4 | 小川 芋銭 | | 涼気流 | 昭和12年 | 紙本・淡彩・軸装 | 45.8×65.3 | |
| 5 | 鑄木 清方 | 1878-1972 | 汐路のゆきかい | 昭和34年 | 絹本・彩色・額装 | 57.5×62.6 | |
| 6 | 門井 掬水 | 1886-1976 | 夕浜 | 昭和15年 | 絹本・彩色・額装 | 185.0×226.0 | |
| 7 | 門井 掬水 | | 念仏講 | 不詳 | 絹本・彩色・軸装 | 214.0×171.0 | |
| 8 | 保尊 良朔 | 1896-1953 | 壁仏 | 昭和13年 | 紙本・彩色・屏風二曲一双 | 各172.0×198.0 | 山崎敬子氏寄贈 |
| 9 | 時田 直普 | 1907-2000 | 早苗船 | 昭和23年 | 紙本・彩色・屏風二曲一双 | 180.4×185.5 | 時田幸彦氏寄贈 |
| 10 | 杉山 寧 | 1909-1993 | 秋意 | 昭和12年 | 紙本・彩色・屏風四曲一隻 | 218.0×302.0 | |
| 11 | 浦田 正夫 | 1910-1997 | 砂丘 | 昭和46年 | 紙本・彩色・額装 | 175.0×169.0 | 作者寄贈 |
| 12 | 森田 曠平 | 1916-1994 | 八丈のめならべ達 | 昭和34年 | 紙本・彩色・屏風四曲一隻 | 175.9×305.7 | 森田貞子氏寄贈 |
| 〈油彩画〉 | | | | | | | |
| 13 | 熊岡 美彦 | 1889-1944 | 山の娘 | 昭和16年 | 油彩・麻布 | 116.7×91.0 | 長谷川仁氏寄贈 |
| 14 | 福田義之助 | 1890-1959 | 水郷土浦駅頭 | 昭和29年 | 油彩・麻布 | 97.2×130.5 | 寄託 |
| 15 | 柴田三千春 | 1911-1968 | 遠足にて | 昭和22年 | 油彩・麻布 | 89.0×114.0 | 作者寄贈 |
| 16 | 松本 竣介 | 1912-1948 | 霞ヶ関風景・鉄橋近く | 昭和18年 | 鉛筆・墨・紙 | 32.7×58.0 | |
| 17 | 塚 豊二 | 1913-1943 | 草上二童 | 昭和14年 | 油彩・麻布 | 115.0×89.5 | 遺族寄贈 |
| 18 | 堀越 隆次 | 1916-1984 | 家族(A) | 昭和27年 | 油彩・麻布 | 162.0×130.0 | 堀越吟子氏寄贈 |
| 19 | 小又 光 | 1919-1978 | 追羽子 | 昭和22年 | 油彩・麻布 | 117.0×90.0 | 作者寄贈 |
| 〈版画〉 | | | | | | | |
| 20 | 前川 千帆 | 1888-1960 | 新東京百景一品川八ツ山 | 昭和4年 | 木版・紙 | 18.0×24.5 | |
| 21 | 前川 千帆 | | 新東京百景一西の市 | 昭和4年 | 木版・紙 | 18.0×24.5 | |
| 22 | 前川 千帆 | | 新東京百景一渋谷百軒店 | 昭和4年 | 木版・紙 | 24.5×18.0 | |
| 23 | 前川 千帆 | | 新東京百景一深川木場 | 昭和5年 | 木版・紙 | 18.0×24.5 | |
| 24 | 前川 千帆 | | 新東京百景一神田青物市場 | 昭和5年 | 木版・紙 | 18.0×24.5 | |
| 25 | 前川 千帆 | | 新東京百景一台場水上公園 | 昭和5年 | 木版・紙 | 18.0×24.5 | |
| 26 | 前川 千帆 | | 新東京百景一明治座 | 昭和5年 | 木版・紙 | 24.5×18.0 | |
| 27 | 前川 千帆 | | 新東京百景一地下鉄 | 昭和6年 | 木版・紙 | 18.0×24.5 | |
| 28 | 前川 千帆 | | 新東京百景一ミニシアゴルフ | 昭和6年 | 木版・紙 | 18.0×24.5 | |
| 29 | 前川 千帆 | | 新東京百景一五反田駅 | 昭和7年 | 木版・紙 | 18.0×24.5 | |

第2回所蔵品展 日本美術院と茨城の画家たち 平成18年9月1日(金)～10月15日(日)

日本美術院と茨城は、深い縁がある。特に明治39年の日本美術院の五浦移転において、日本画の革新を目指す天心のもとに集結した横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山が五浦の地で切磋琢磨したことは、後進の画家たちの精神的な励みとなり、本県のその後の美術界の発展にもつながっている。

本展では、大観、観山、春草、武山ら五浦の画家たちをはじめ、松本楓湖、小川芋銭、那波多目功一など、茨城にゆかりのある院展の画家の作品23点を紹介した。

●出品目録

| No. | 作者名(生年順) | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 大きさ(cm) | 備考 |
|-----|----------|-----------|----------------|--------|---------------|-------------|----------|
| 1 | 松本 楓湖 | 1840-1923 | 海上朝陽, 松竹梅 | 大正4年 | 絹本・彩色・軸装(3幅対) | 各116.7×35.0 | 大澤彌太郎氏寄贈 |
| 2 | 松本 楓湖 | | 養老の滝 | 大正初期 | 絹本・彩色・軸装 | 111.5×40.3 | 大澤彌太郎氏寄贈 |
| 3 | 松本 楓湖 | | 素盞鳴尊 | 大正初期 | 絹本・彩色・軸装 | 111.5×41.2 | 大澤彌太郎氏寄贈 |
| 4 | 小川 芋銭 | 1868-1938 | 河童百図<因指見月> | 昭和12年 | 紙本・墨画・軸装 | 30.0×33.9 | |
| 5 | 小川 芋銭 | | 河童百図<カッパ虫> | 昭和12年 | 紙本・淡彩・軸装 | 33.9×64.0 | |
| 6 | 小川 芋銭 | | 河童百図<かっぱのまぼろし> | 昭和12年 | 紙本・墨画・軸装 | 55.3×68.0 | |
| 7 | 横山 大観 | 1868-1958 | 紫山返照 | 昭和10年 | 紙本・墨画彩色・額装 | 76.0×115.0 | |
| 8 | 横山 大観 | | 月満山 | 昭和12年 | 紙本・墨画・軸装 | 65.0×99.0 | |
| 9 | 横山 大観 | | 蓬萊山 | 昭和21年頃 | 絹本・彩色・軸装 | 50.0×58.0 | 結城四郎氏寄贈 |

| No. | 作者名(生年順) | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 大きさ(cm) | 備考 |
|-----|---------------------------------------|-----------|-------------|--------|--------------|-------------|------------|
| 11 | 菱田 春草 | 1874-1911 | 林和靖 | 明治期 | 絹本・彩色・軸装 | 50.5×40.5 | 寄託 |
| 12 | 木村 武山 | 1876-1942 | 英姿 | 昭和10年 | 絹本・彩色・軸装 | 195.5×104.5 | |
| 13 | 飛田 周山 | 1877-1945 | 森漫 | 昭和10年 | 絹本・彩色・額装 | 92.0×114.0 | |
| 14 | 児玉 素光 | 1890-1966 | 常陸五浦真景図 | 昭和14年頃 | 紙本・墨画・卷子 | 66.0×460.0 | 竹内清次氏寄贈 |
| 15 | 清原 齊 | 1896-1956 | 宵 | 昭和30年 | 紙本・彩色・額装 | 230.3×194.5 | |
| 16 | 酒井 三良 | 1897-1969 | 海 | 昭和27年 | 紙本・墨画・額装 | 93.0×123.0 | 伊藤興太郎氏寄贈 |
| 17 | 羽石 光志 | 1903-1988 | 宇治川 | 昭和39年 | 紙本・彩色・額装 | 200.2×242.4 | 寄託 |
| 18 | 那波多目煌星 | 1905-1989 | 化身 | 昭和50年 | 紙本・彩色・額装 | 222.0×162.0 | 作者寄贈 |
| 19 | 高崎 興 | 1908-1985 | 浄心 | 昭和58年 | 紙本・彩色・額装 | 227.0×182.0 | 高崎興一氏寄贈 |
| 20 | 田中 嘉三 | 1909-1967 | 仏弟子 | 昭和38年 | 紙本・彩色・額装 | 180.0×226.0 | |
| 21 | 那波多目功一 | 1933- | 廃園 | 昭和58年 | 紙本・彩色・額装 | 160.0×112.0 | |
| 22 | 倉島 重友 | 1944- | 川風 | 平成13年 | 紙本・彩色・額装 | 215.0×170.0 | 第7回天心記念茨城賞 |
| 23 | 下村観山・小川芋銭・ 飛田周三・木村武山・ 松本楓湖・横山大観 | | 飯村丈三郎古希記念画冊 | 大正11年 | 絹本・彩色・画冊(6図) | 各36.3×26.1 | |

特別展示 木村武山 須磨御殿彩色杉戸絵 平成18年9月14日(木)～10月15日(日)

須磨御殿彩色杉戸絵は、茨城県行方市出身の実業家内田信也(1880～1971)が大正8年頃に兵庫県神戸市須磨に建てた邸宅にあったものである。この杉戸絵は、横山大観らと共に日本美術院の中心として活躍した木村武山(1876～1942)によって、画家自身最も脂が乗った時期(大正7年頃)に描かれた。

須磨御殿の建物は平成7年の阪神淡路大震災の際、多大な被害を受けたが、杉戸絵は幸いにも損傷を免れ、所有者のご理解により、武山の郷里茨城での公開が相応しいと、平成13年本県に寄託された。本展では、豪華な杉の一枚板に描かれた彩色杉戸絵25枚を紹介した。本展は、まなびピアいばらき2006協賛事業として実施した。

●出品目録

| No. | 作者名(生年順) | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 大きさ(cm) | 備考 |
|-----|----------|-----------|-----------|--------|------------|-------------|---------|
| 24 | 木村 武山 | 1876-1942 | 須磨御殿彩色杉戸絵 | 大正7年頃 | 杉戸44面・彩色 | | 寄託 |
| 25 | 木村 武山 | | 光明皇后図(下絵) | 昭和11年頃 | 紙本・墨画・パネル装 | 246.5×766.3 | 木村明正氏寄贈 |

第3回所蔵品展 四季の情景－冬－ 平成18年12月1日(金)～12月24日(月)

冬は、夏のにぎわいから彩り鮮やかな秋を経て、やがて訪れる春を待つ一年のうちで最も静かな季節である。多くの生き物たちが新たな生命の営みにそなえて休息に入り、景色は多くの色を失い、寂寞感は深まりゆく。

私たち日本人は、わが国特有の自然風土に培われた季節の移ろいを慈しみ、四季折々の美しさを古来「雪・月・花」ということばで表してきた。絵画においても、雪は冬の情景に欠かせない題材のひとつである。現代では、冬の情景が画家自身の思いを重ね合わせた心象風景として描かれることもあり、その表現も様々である。

本展では、横山大観、小川芋銭、酒井三良、小林巢居人、黒田清輝、小堀進ら近・現代の画家たちが描いた冬の情景にちなんだ作品30点を紹介した。

●出品目録

| No. | 作者名(生年順) | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 大きさ(cm) | 備考 |
|-------|----------|-----------|--------|--------|--------------|-------------|----------|
| 〈日本画〉 | | | | | | | |
| 1 | 奥原 晴湖 | 1837-1913 | 枯木寒鴉 | 明治43年 | 絹本・淡彩・軸装 | 123.7×40.9 | |
| 2 | 松本 楓湖 | 1840-1923 | 雪中武者 | 不詳 | 絹本・彩色・軸装 | 125.6×54.0 | 宮崎慶一郎氏寄贈 |
| 3 | 小川 芋銭 | 1868-1938 | 雪女 | 大正末期 | 絹本・淡彩・軸装 | 127.0×42.0 | |
| 4 | 小川 芋銭 | | 雪姥と黒狐 | 昭和2年 | 絹本・彩色・軸装 | 102.0×51.0 | 寄託 |
| 5 | 横山 大観 | 1868-1958 | 霊峰不二 | 昭和16年頃 | 絹本・彩色・額装 | 36.0×94.0 | 北茨城市寄託 |
| 6 | 下村 観山 | 1873-1930 | 日の出・雪梅 | 明治41年頃 | 絹本・彩色・軸装(対幅) | 各108.5×41.0 | |
| 7 | 木村 武山 | 1876-1942 | 雪 | 明治38年頃 | 紙本・淡彩・軸装 | 106.0×33.7 | 寄託 |
| 8 | 土田 麦僊 | 1887-1936 | 熊野の冬 | 大正6年 | 絹本・彩色・軸装 | 137.5×43.5 | |
| 9 | 榭原 紫峰 | 1887-1971 | 雪中狐鹿之図 | 大正10年 | 絹本・彩色・軸装 | 146.1×51.2 | |

| No. | 作者名(生年順) | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 大きさ(cm) | 備考 |
|-----|-----------------------------|-----------|-----------------------|-------|------------|-------------|------------|
| 10 | 中村 岳陵 | 1890-1969 | 飛雪 <small>ひせつ</small> | 昭和前期 | 紙本・彩色・額装 | 58.0×70.8 | 寄託 |
| 11 | 速水 御舟 | 1894-1935 | 寒林 | 大正14年 | 絹本・墨画彩色・軸装 | 27.8×39.1 | |
| 12 | 酒井 三良 | 1897-1969 | 雪 | 昭和38年 | 紙本・彩色・額装 | 74.0×105.0 | |
| 13 | 小林巢居人 <small>そうきょじん</small> | 1897-1978 | 田園の四季(冬) | 大正12年 | 紙本・淡彩・卷子 | 22.0×519.0 | 小林登氏寄贈 |
| 14 | 小林 恒岳 | 1932- | 越寒 | 昭和58年 | 紙本・彩色・額装 | 162.1×130.3 | 寄託 |
| 15 | 高橋 秀年 | 1953- | 清夜 | 平成11年 | 紙本・彩色・額装 | 224.5×179.5 | 第5回天心記念茨城賞 |
| 16 | 岡田 眞治 | 1962- | 冬のベネチア | 平成15年 | 紙本・彩色・額装 | 215.0×170.0 | 第9回天心記念茨城賞 |

〈水彩画〉

| | | | | | | | |
|----|------------------------------|-----------|--|-------|----------|-------------|--------|
| 17 | 春日部たすく | 1903-1985 | 盆地(冬) | 昭和35年 | 水彩・紙・額装 | 73.0×117.0 | |
| 18 | 春日部たすく | | 蕾 <small>つぼみ</small> (辛夷) <small>こぶし</small> | 昭和57年 | 水彩・麻布・額装 | 91.0×51.0 | 作者寄贈 |
| 19 | 春日部たすく | | 落葉(辛夷) | 昭和57年 | 水彩・麻布・額装 | 91.0×51.0 | 作者寄贈 |
| 20 | 小堀 進 | 1904-1975 | 残雪 | 昭和31年 | 水彩・紙・額装 | 55.0×74.5 | 小堀昭氏寄贈 |
| 21 | 三橋兄弟治 <small>みつはし兄弟治</small> | 1911-1996 | 古城新雪 | 昭和59年 | 水彩・紙・額装 | 112.0×145.0 | |

〈油彩画〉

| | | | | | | | |
|----|--------|-----------|------|--------|----------|-------------|------|
| 22 | 黒田 清輝 | 1866-1924 | 庭の雪 | 明治38年 | 油彩・板・額装 | 34.0×26.0 | |
| 23 | 久米桂一郎 | 1866-1934 | 雪の庭 | 明治31年 | 油彩・板・額装 | 23.5×32.5 | |
| 24 | 小杉 未醒 | 1881-1964 | 濱の冬 | 明治44年頃 | 油彩・麻布・額装 | 60.8×80.0 | |
| 25 | 金山 平三 | 1883-1964 | 氷滑り | 大正11年頃 | 油彩・麻布・額装 | 24.0×33.0 | |
| 26 | 海老原喜之助 | 1904-1970 | 雪中行軍 | 昭和5年 | 油彩・麻布・額装 | 90.5×72.2 | |
| 27 | 田村 一男 | 1904-1997 | 北信冬 | 平成2年 | 油彩・麻布・額装 | 145.5×89.4 | |
| 28 | 山口 薫 | 1907-1968 | 雪原 | 昭和33年 | 油彩・麻布・額装 | 53.0×65.0 | |
| 29 | 西田 亨 | 1920- | 霧水の朝 | 昭和50年 | 油彩・麻布・額装 | 162.0×130.0 | |
| 30 | 田中 良 | 1923- | 北の浜辺 | 昭和56年 | 油彩・麻布・額装 | 130.3×193.9 | 作者寄贈 |

第4回所蔵品展 戦後日本画へのいざない 前期:平成19年2月17日(土)～3月4日(日)
後期:平成19年3月29日(土)～4月22日(日)

戦後、海外との交流が盛んになり、日本画においても欧米美術を進んで取り入れるなど、新たな絵画表現が生まれ多彩になってゆく。そこでは、厚塗りの技法や造形性を重視する表現なども目立って多くなる一方で、改めて伝統絵画の良さを生かした独自の作品も描かれている。

本展では、戦後の日本画壇をリードした東山魁夷、杉山寧をはじめ、天心記念茨城賞を受賞し、現代の美術界で活躍する西田俊英、宮北千織など、それぞれの個性に託し描かれた多彩な日本画22点を紹介した。

●出品目録

| No. | 作者名(生年順) | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 大きさ(cm) | 備考 |
|-----|------------------------------|-----------|-------------------------------|--------|--------------|-------------|------------|
| 1 | 小林巢居人 <small>そうきょじん</small> | 1897-1978 | きりはれる | 昭和48年 | 紙本・彩色・額装 | 122.0×182.5 | 小林登氏寄贈 |
| 2 | 東山 魁夷 | 1908-1999 | 潮音 <small>うしな</small> | 昭和44年 | 紙本・彩色・額装 | 53.7×72.7 | 寄託 |
| 3 | 杉山 寧 <small>やすし</small> | 1909-1993 | 瀾 <small>らん</small> | 昭和40年代 | 紙本・彩色・額装 | 72.5×54.5 | 寄託 |
| 4 | 浦田 正夫 | 1910-1997 | 日午 <small>にちご</small> | 平成4年 | 紙本・彩色・額装 | 188.0×142.0 | 作者寄贈 |
| 5 | 吉田 善彦 | 1912-2001 | 浅間月明 | 昭和53年 | 紙本・彩色・額装 | 162.5×130.6 | 寄託 |
| 6 | 森田 曠平 | 1916-1994 | 女神春秋・花鎖め <small>はなしず</small> | 昭和57年 | 紙本・彩色・屏風四曲一隻 | 174.0×362.0 | 寄託 |
| 7 | 森田 曠平 | | 女神春秋・龍田姫 <small>たつたひめ</small> | 昭和58年 | 紙本・彩色・屏風四曲一隻 | 174.0×362.0 | 寄託 |
| 8 | 加倉井和夫 | 1919-1995 | 立琴 | 昭和57年 | 紙本・彩色・額装 | 218.5×119.0 | 寄託 |
| 9 | 川崎 春彦 | 1929- | 襲 <small>しゅう</small> | 平成10年 | 紙本・彩色・額装 | 172.0×215.0 | 作者寄贈 |
| 10 | 小谷津雅美 | 1933- | 終宴 | 平成10年 | 紙本・彩色・額装 | 218.5×173.5 | 第4回天心記念茨城賞 |
| 11 | 田淵 俊夫 | 1941- | 濃尾三川 <small>のうびさんせん</small> | 昭和54年 | 紙本・彩色・額装 | 130.0×162.0 | 寄託 |
| 12 | 菊川三織子 <small>きくがわみおり</small> | 1944- | 花影 | 平成7年 | 紙本・彩色・額装 | 210.0×168.0 | 第1回天心記念茨城賞 |
| 13 | 齋藤 満栄 | 1948- | 秋晨 <small>あきしん</small> | 平成12年 | 紙本・彩色・額装 | 170.0×215.0 | 第6回天心記念茨城賞 |
| 14 | 梅原 幸雄 | 1950- | 花筏 <small>はないば</small> | 平成13年 | 紙本・彩色・額装 | 181.0×546.0 | 寄託 |
| 15 | 高橋 秀年 <small>ひでとし</small> | 1953- | ザンスカール | 平成5年 | 紙本・彩色・額装 | 216.0×170.0 | 寄託 |
| 16 | 西田 俊英 | 1953- | 華孔雀 <small>はなくじく</small> | 平成15年 | 紙本・彩色・額装 | 182.0×364.0 | 寄託 |
| 17 | 北田 克己 | 1955- | 夜明けの地 | 平成15年 | 紙本・彩色・額装 | 175.0×220.0 | 寄託 |

| No. | 作者名(生年順) | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 大きさ(cm) | 備考 |
|-----|---------------------------|-------|------|-------|----------|-------------|-------------|
| 18 | 川崎 麻児 <small>あさこ</small> | 1959- | 廻廊にて | 平成12年 | 紙本・彩色・額装 | 180.0×180.0 | 作者寄贈 |
| 19 | 小田野尚之 | 1960- | 来客 | 平成13年 | 紙本・彩色・額装 | 170.0×215.0 | 寄託 |
| 20 | 清水 由朗 <small>よしろう</small> | 1961- | 幕電 | 平成14年 | 紙本・彩色・額装 | 214.0×169.0 | 寄託 |
| 21 | 村上 裕二 | 1964- | 白昼 | 平成10年 | 紙本・彩色・額装 | 169.8×214.0 | 寄託 |
| 22 | 宮北 千織 | 1967- | うつろふ | 平成16年 | 紙本・彩色・額装 | 170.0×215.0 | 第10回天心記念茨城賞 |

3 岡倉天心記念室

(1) 五浦の作家たちの作品展示

茨城県近代美術館等が所蔵する横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山ら五浦の作家たちの作品を選び、年6回の展示をした。

●会期及び出品目録

| No. | 作者名 | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 大きさ(cm) | 備考 |
|--|-------|-----------|-----------|----------|--------------|------------|----------|
| 第1回 平成18年5月2日(火)～6月30日(金) | | | | | | | |
| 1 | 横山 大観 | 1868-1958 | 飛泉 | 明治35年 | 絹本・彩色・軸装(対幅) | 125.3×41.2 | |
| 2 | 横山 大観 | | 月明 | 昭和6年頃 | 絹本・彩色・軸装 | 136.6×41.7 | |
| 3 | 下村 観山 | 1873-1930 | 納涼図 | 明治42年頃 | 絹本・彩色・軸装 | 84.0×50.0 | |
| 4 | 菱田 春草 | 1874-1911 | 秋溪 | 明治35年 | 絹本・彩色・軸装(対幅) | 125.5×41.3 | |
| 5 | 木村 武山 | 1876-1942 | 小楠公 | 明治36年頃 | 紙本・彩色・軸装 | 140.3×64.8 | |
| 6 | 木村 武山 | | 菅公太宰府配處之図 | 明治末期 | 絹本・彩色・軸装 | 111.0×41.0 | |
| 第2回 平成18年7月1日(土)～8月31日(木) 特別展示 旧サースピー・コレクション(天心の作品) | | | | | | | |
| 1 | 岡倉 天心 | 1862-1913 | 海辺の松 | 明治37年 | 絹本・彩色・額装 | 49.4×87.9 | 寄託 |
| 2 | 岡倉 天心 | | ロバと人物 | 明治37年 | 絹本・彩色・額装 | 49.0×86.3 | 寄託 |
| 3 | 岡倉 天心 | | 山水の図 | 明治37年 | 絹本・墨画・額装 | 80.7×27.4 | 寄託 |
| 4 | 岡倉 天心 | | 竹の図 | 明治37年 | 絹本・彩色・額装 | 91.6×24.0 | 寄託 |
| 5 | 岡倉 天心 | | 日の出(画賛) | 明治37年 | 絹本・彩色・額装 | 63.3×46.7 | 寄託 |
| 6 | 岡倉 天心 | | 月(画賛) | 明治37年 | 絹本・彩色・額装 | 48.5×35.8 | 寄託 |
| 7 | 岡倉 天心 | | 玉蓮 | 不詳 | 紙本・墨画・額装 | 25.0×35.0 | 寄託 |
| 第3回 平成18年9月1日(金)～10月31日(火) | | | | | | | |
| 1 | 横山 大観 | 1868-1958 | 峠の夕 | 明治36年 | 絹本・彩色・軸装 | 40.5×65.5 | |
| 2 | 下村 観山 | 1873-1930 | 雨中鷺 | 明治41年頃 | 紙本・墨画・軸装 | 70.0×121.3 | |
| 3 | 菱田 春草 | 1874-1911 | 林和靖 | 明治41年 | 絹本・彩色・軸装 | 116.0×50.3 | |
| 4 | 菱田 春草 | | 五浦ノ月 | 明治42～43年 | 絹本・彩色・軸装 | 113.6×50.7 | |
| 5 | 木村 武山 | 1876-1942 | 義家勿来関 | 明治40年頃 | 絹本・彩色・軸装 | 120.3×50.7 | 寄託 |
| 第4回 平成18年11月1日(水)～12月28日(木) | | | | | | | |
| 1 | 横山 大観 | 1868-1958 | 樹下美人 | 明治45年頃 | 絹本・彩色・軸装 | 123.0×51.0 | |
| 2 | 横山 大観 | | 釈迦 | 明治40年頃 | 絹本・彩色・軸装 | 117.2×50.4 | 寄託 |
| 3 | 菱田 春草 | 1874-1911 | 菊慈童 | 明治34年 | 絹本・彩色・軸装 | 120.0×49.8 | |
| 4 | 木村 武山 | 1876-1942 | 日本武尊 | 明治40年頃 | 絹本・彩色・軸装 | 124.7×33.7 | 寄託 |
| 5 | 木村 武山 | | 黒猫 | 大正7年頃 | 絹本・彩色・軸装 | 127.2×41.5 | 大塚子之吉氏寄贈 |
| 第5回 平成19年1月2日(火)～2月28日(水) | | | | | | | |
| 1 | 横山 大観 | 1868-1958 | 風雪に鷺 | 明治37-38年 | 絹本・墨画彩色・額装 | 87.1×49.8 | 寄託 |
| 2 | 横山 大観 | | 雪影 | 明治37-38年 | 絹本・彩色・額装 | 77.1×53.8 | 寄託 |
| 3 | 横山 大観 | | 筑波山 | 昭和3～5年頃 | 絹本・墨画金泥・軸装 | 28.5×36.5 | 寄託 |
| 4 | 菱田 春草 | 1874-1911 | 帰漁 | 明治37年 | 絹本・墨画・額装 | 49.4×73.3 | |
| 5 | 木村 武山 | 1876-1942 | 不動明王(模写) | 昭和2年頃 | 絹本・彩色・軸装 | 123.0×72.0 | 寄託 |
| 第6回 平成19年3月1日(木)～4月30日(月) | | | | | | | |
| 1 | 横山 大観 | 1868-1958 | 秋の夕 | 明治35年 | 絹本・彩色・軸装(対幅) | 121.7×50.5 | |
| 2 | 横山 大観 | | 葉桜 | 明治末期 | 絹本・彩色・軸装 | 117.0×42.0 | |
| 3 | 菱田 春草 | 1874-1911 | 春の朝 | 明治35年 | 絹本・彩色・軸装(対幅) | 122.0×50.8 | |
| 4 | 菱田 春草 | | 春の漁 | 明治42年頃 | 絹本・淡彩・軸装 | 122.8×51.0 | 寄託 |

| No. | 作者名 | 生没年 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法・形状 | 大きさ(cm) | 備考 |
|-----|-------|-----------|-------|-----------|----------|------------|----|
| 5 | 木村 武山 | 1876-1942 | 貴紳観桜図 | 明治33~34年頃 | 絹本・彩色・軸装 | 119.8×49.5 | |
| 6 | 木村 武山 | | 勇駒 | 大正9年頃 | 絹本・彩色・軸装 | 120×27.4 | 寄託 |

(2) 資料テーマ展示

- ・テーマ名 「天心とアメリカⅡー日本美術院の海外展ー」
- 期 間 平成18年4月1日～平成19年9月30日
- 内 容 明治37年(1904)に岡倉天心が渡米したとき、日本美術院の画家である横山大観、菱田春草らが同行した。その目的には、日本画を中心とした日本美術を紹介し、行き詰まった日本美術院の経営を打破することも含まれていた。展覧会は、天心と旧知の仲である、ビゲロウ、ラファージ、オリ・ブル夫人、サースビー姉妹らによって支援され大成功を収めた。今回は、当時の展覧会の資料を通してプロデューサー天心を概観した。
- 展示資料 「天心と日本美術院海外展」(解説パネル)
「アメリカでの天心の後継者」(解説パネル)
「日の出(画賛)」(複製)
「月(画賛)」(複製)
「ニューヨーク・タイムズ記事」(実物・写真)
「大観・春草作品展目録」(複製・コピー・写真)
「大観・春草・紫水作品展案内状」(実物・写真)
「センチュリー・アソシエーション, スタジオハウス」(写真)
「大観・春草・観山の出品作品」(写真)
- ・テーマ名 「日本美術院の五浦時代の実際」
- 期 間 平成18年10月31日～平成19年3月30日
- 内 容 五浦での天心や4人の画家たちの活動は、当初、大きく取り上げられることもあったが、実質的な活動を終えてからは、当時の資料が限られていることもあり、活動の実際が理解しにくい面があった。そこで、五浦での画家たちの動向を直接伝える当館所有の原資料等を展示するとともに、この時代を中心にした略年譜を示すことで、日本美術院の五浦時代の実際をわかりやすく紹介した。
- 展示資料 「明治39年6月13日付 矢部清助、河合寅次あて天心書簡 封筒」(実物)
「明治39年(推定)12月1日付 鈴木督次あて4者連名案内状 封筒」(複製/原資料, 個人蔵)
「五浦の月」明治40年9月26日『いはらき新聞』記事(実物)
横山大観作「五浦スケッチ」(実物)
「岡倉天心邸での中秋観月の園遊会(明治40年9月22日)」(解説パネル)
「五浦時代略年譜」
『北茨城風景絵はがき』より「八勝園」(写真パネル)